



Kodak

i1400 シリーズスキャナー

ユーザーズガイド

安全性について

ユーザへの注意事項

- スキャナーは 5.5 kg の荷重に耐えられる安定した、水平な場所に設置してください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーと電源装置は室内の乾いた場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- スキャナーに付属していた電源アダプタのみを使用してください。その他の電源コードを使用すると、感電または製品破損の危険があります。
- スキャナーの操作中は、プリントヘッドの位置を変更するか、インクカートリッジを交換するとき以外はプリンタアクセスドアは、定位置で閉じてください。プリンタアクセスドアを取り外すときは、衣服のゆったりした部分、宝石、髪の毛などがプリンタの開口部に入らないように**注意**してください。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。接続がゆるいと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを傷つける、結ぶ、切る、改造などはしないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続してください。スキャナーに延長ケーブルを使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを空け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外してください。コダックサービスセンターにご連絡ください。
- スキャナーや AC 電源アダプタを分解または改造しないでください。
- 本製品は、IT 電源システムに合わせて設計されています。
- 電源コードとインターフェースケーブルが接続されたままでスキャナーを移動しないでください。コードとケーブルが破損します。スキャナーを移動する前に電源コードをコンセントから抜いてください。
- コダックが推奨するクリーニング手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の化学物質安全データシート (MSDS) は、次のコダック Web サイトで入手できます。(www.kodak.com/go/msds)。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「アクセサリと消耗品」を参照してください。

ユーザやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項として以下のものがあります（ただし、これに限りません）。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンは外さないようにしてください。
- 外れやすいアクセサリ、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、引き込まれそうな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナーまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

警告ラベル



注意：可動部品。触らないでください。



注意：高温。触らないでください。

環境に関する情報

- コダック i1400 シリーズスキャナーは、世界各国の環境要件に対応できるよう設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄のコダック代理店にお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- コダック i1400 シリーズスキャナーは国際エネルギースタープログラムに適合しており、出荷時にはスリープモードへの移行時間が 15 分に設定されています。

ヨーロッパ連合



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集 / 回収プログラムの詳細については、最寄りのコダック代理店にお問い合わせください。または、www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

REACH 規則 ((EC) No. 1907/2006) 第 59 (1) 条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、www.kodak.com/go/REACH を参照してください。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV
操作者位置の騒音は <70 dB (A) 以下。]

EMC 声明

米国： この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。これらの制限は、居住設備での有害な電波障害に対して適切な保護機能を提供するように設計されています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置、ご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、取扱説明書に従って設置した場合でも障害が発生する可能性があります。この装置が無線通信またはテレビ受信の障害となる場合には（これは装置をオン / オフすることで判定できます）、次の 1 つ以上の方法で障害を改善されることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変える、または場所を移動する。
- この装置と受信機との距離を広げる。
- この装置を、受信機が接続されている回線とは異なるコンセントに接続する。
- 取扱店または信頼できるラジオ / テレビ関係の技術者に問い合わせる。

準拠に対して責任を負う当事者の明示的な許可を得ないまま機器を改造または改変した場合は、機器を操作する権限を失う場合があります。製品に被覆インターフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェースケーブルを追加コンポーネント / アクセサリとして使用するよう指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

韓国： この機器は家庭で使用するための EMC 登録を取得しており、住宅でご利用いただけます。

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本： この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビジョン受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しいインストールと運用を実施してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

概要

1-1

設置方法

2-1

スキャン

3-1

印字

4-1

メンテナンス

5-1

1 概要

目次

参考資料.....	1-1
アクセサリ	1-2
梱包物	1-2
スキャナーのコンポーネント	1-3

コダック i1400 シリーズスキャナーは、以下のモデルが用意されています。



コダック i1405 スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 45 枚（300 dpi、白黒、横送り）処理するデスクトップ用両面カラーสキャナーです。

コダック i1410 スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 60 枚（300 dpi、白黒、横送り）処理するデスクトップ用片面カラーสキャナーです。

コダック i1420 スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 60 枚（300 dpi、白黒、横送り）処理するデスクトップ用両面カラーสキャナーです。

コダック i1440 スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 75 枚（300 dpi、白黒、横送り）処理するデスクトップ用両面カラーสキャナーです。

この『ユーザーズガイド』では、コダック i1400 シリーズスキャナーの使用および保守手順について説明します。特に指定がない限り、本マニュアルに記載されている情報は全モデルに該当します。

参考資料

この『ユーザーズガイド』以外に、以下の資料が用意されています。

- **インストールガイド** — スキャナーのインストール作業を手順ごとに説明します。
- **イメージ処理ガイド** — ユーザによる画像処理の要求に応じて、コダック i1400 シリーズスキャナーには TWAIN データソースおよび ISIS ドライバが同梱されています。イメージ処理ガイドでは、基本的なイメージ処理機能の方法を説明します。インストール CD に PDF ファイルで収録されています。
- **スマートタッチユーザーズガイド** — スマートタッチ機能の使用方法に関する情報と手順を説明します。このガイドは、インストール CD に PDF ファイルで提供されています。
- **リファレンスガイド** — スキャナーをクリーニングする手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばにおいて置いて、いつでも参照できるようにしてください。

アクセサリ

- **コダック A4 サイズ対応フラットベッド** — コダック A4 サイズ対応フラットベッドにより、コダック i1400 シリーズスキャナーを使って、8.5 x 11 インチ (A4) までの規格外のドキュメントをスキャンできるようになります。CAT No. 867 7288
- **コダック A4 フラットベッド用ブラックバックグラウンド** — 主に背景の白い原稿をスキャンするときに、このフラットベッドカバーを使用すると、イメージに黒い境界線を追加することができます。CAT No. 863 6870
- **コダック A3 フラットベッド** — コダック A3 フラットベッドにより、コダック i1400 シリーズスキャナーを使って、11 x 17 インチ (A3) までの規格外の原稿をスキャンできるようになります。CAT No. 179 6747 フラットベッドはコダック i1405 スキャナーでは使用できません。

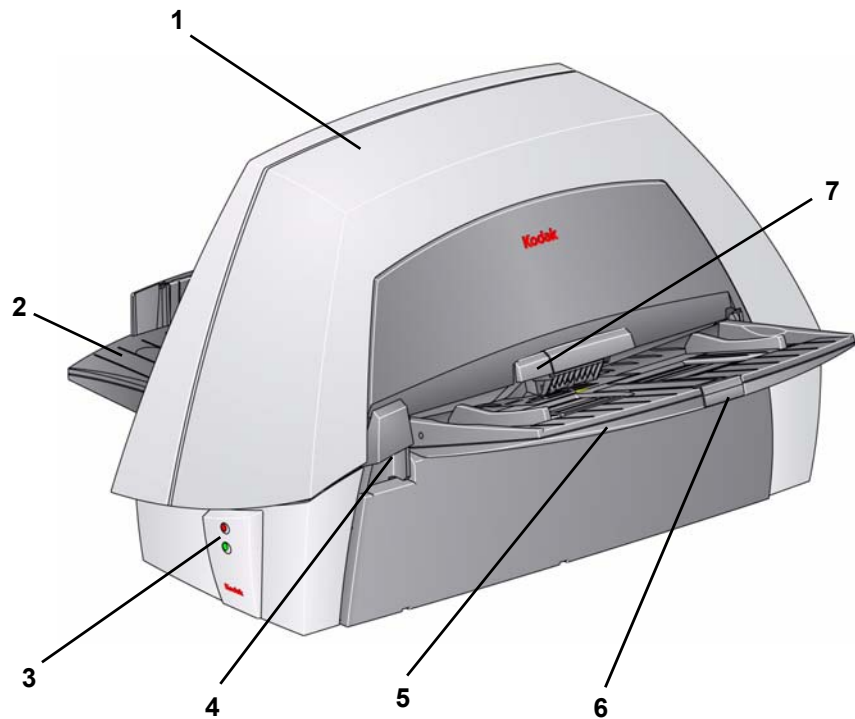
同梱品一覧

梱包品内容の確認

- コダック i1405、i1410、i1420、i1440 スキャナー
- 入力トレイ
- 出力トレイ
- USB 2.0 ケーブル
- 電源アダプタ
- AC 電源コード
- 次の物品が入ったフォルダ
 - インストール CD
 - アプリケーション CD
 - 保証 / 登録シート
 - ユーザーズガイド (英語版)
 - リファレンスガイド
 - インストールガイド
 - サービス & サポートの問い合わせ先シート
 - その他のパンフレット (「国内連絡先詳細」や「製品保障の登録は使用しません」)

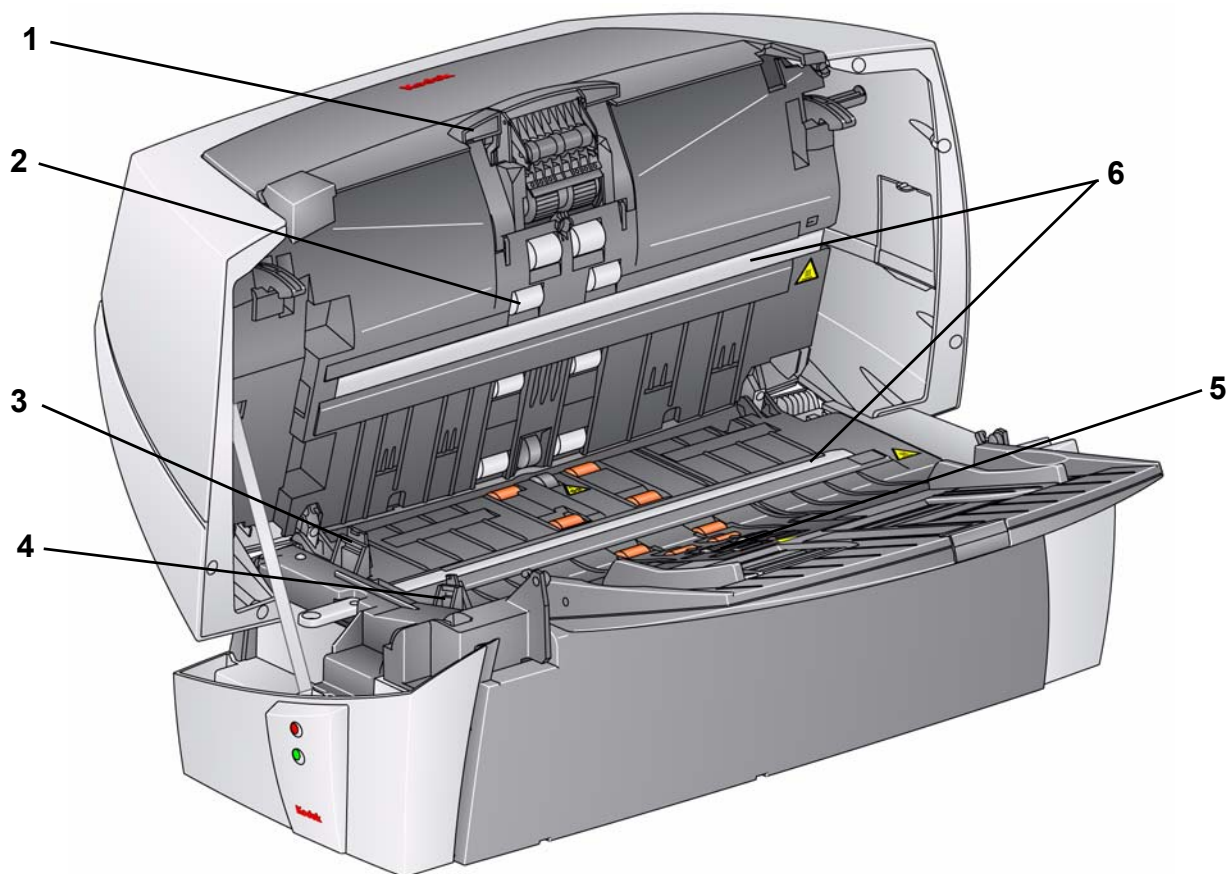
スキャナーのコンポーネント

前面部



- 1 スキャナーカバー — このカバーを開いて内部コンポーネントにアクセスします。
- 2 出力トレイ — スキャン済みの原稿を収納します。
- 3 LED — 点滅または点灯してスキャナーの状態を表します。
- 4 スキャナーカバーリリースレバー — このレバーを押し上げると、スキャナーカバーが開きます。
- 5 入力トレイ — 最高 100 枚までの原稿をセットできます (20 lb./75 g/m² 紙換算)。
- 6 延長トレイ — 21.6 x 27.9 cm を超える長さの原稿をスキャンする場合に、この延長トレイを引き出します。
- 7 ギャップリリースレバー — 特別な処理を必要とする原稿をスキャンする場合、このレバーを押し上げて、フィードモジュールとセパレータモジュール間のギャップを調節します。

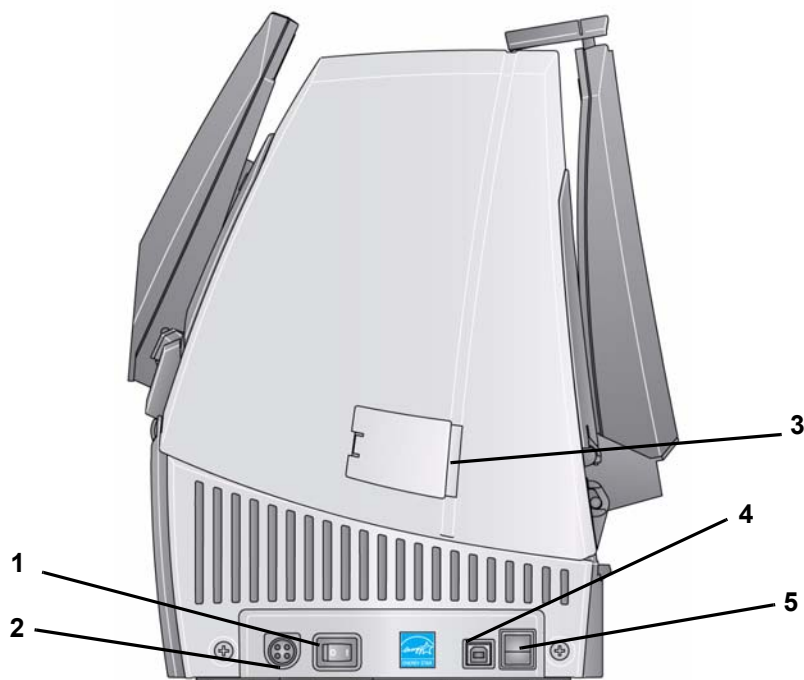
内部



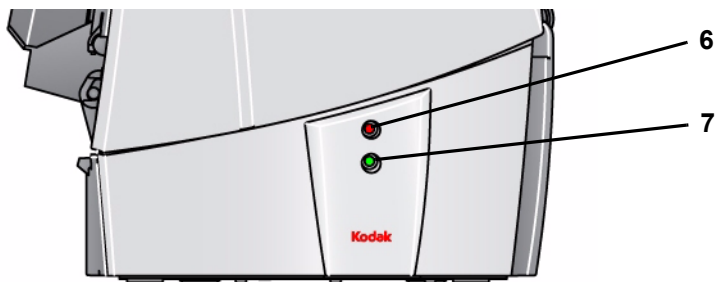
- 1 **セパレータモジュール** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。
- 2 **ローラ** — スキャナー内で原稿をスムーズに搬送する役割を果たします。
- 3 **リアローラカバー** — リアローラを清掃する場合に取り外します。
- 4 **フロントローラカバー** — フィードモジュールにアクセスする場合に取り外します。フィードモジュールやフィードモジュールタイヤを清掃、交換する場合は、このカバーを取り外します。
- 5 **フィードモジュール** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。
- 6 **イメージングガイド** — イメージ品質を最適に保つために、イメージングガイドは定期的にクリーニングしてください。

注：コダック i1410 スキャナーには、上部イメージングガイドがありません。

側面ビュー



- 1 **電源ボタン** — スキャナーの電源をオン (I)、またはオフ (O) にします。
- 2 **電源ポート** — 電源コードをスキャナーに接続します。
- 3 **サイドアクセスドア** — 上部イメージングガイドを交換する際のアクセスを与えます。*コダック i1410 スキャナーには、サイドアクセスドアがありません。*
- 4 **USB ポート** — スキャナーを PC へ接続します。
- 5 **フラットベッド用 USB ポート** — オプションの A3 フラットベッドをスキャナーに接続します。*i1405 スキャナーには、フラットベッド用 USB ポートがありません。*



- 6 **上部 LED** — エラー発生時に赤色に点滅します。
- 7 **下部 LED** — スキャナーのスキャン準備が完了すると緑色に点灯します。スキャン準備中は、緑色に点滅します。

2 設置方法

目次

スキャナーの接続	2-1
コダックドライバソフトウェアのインストール - Windows	2-1
入力トレイと出力トレイの取り付け	2-3
電源コードと USB ケーブルの接続.....	2-4
電源コードの取り外し	2-4
スキャナーの電源を入れる	2-5

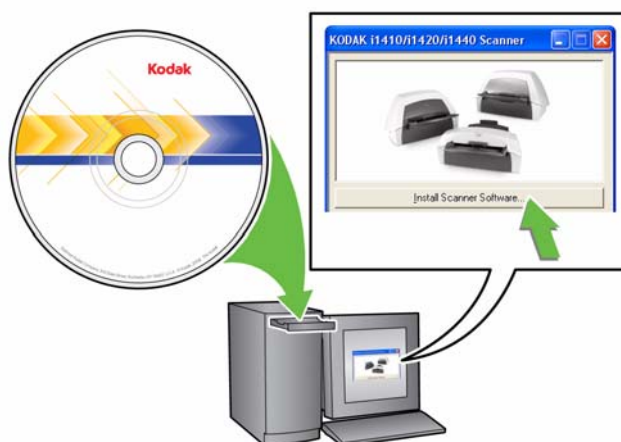
スキャナーの接続

このセクションでは、スキャナーに付属の『インストールガイド』の詳細について説明します。手順を順番に実行して、スキャナーを接続してください。

注：『インストールガイド』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションを省略してください。

コダックドライバソフトウェアのインストール - Windows

1. コダック i1400 シリーズスキャナーのインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。
2. [スキャナーソフトウェアのインストール ...] を選択します。



注：

- CD が自動的に起動しない場合、デスクトップ上のマイコンピュータアイコンを開きます。CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックし、**Setup.exe** をダブルクリックします。
- ***/Portions of this application are already installed/*** というメッセージが表示されたら、**[Yes]** をクリックしてインストール手順を続行します。これまでにインストールされたコダックスキャナーソフトウェアで、このスキャナーで共有されるものは更新されます。

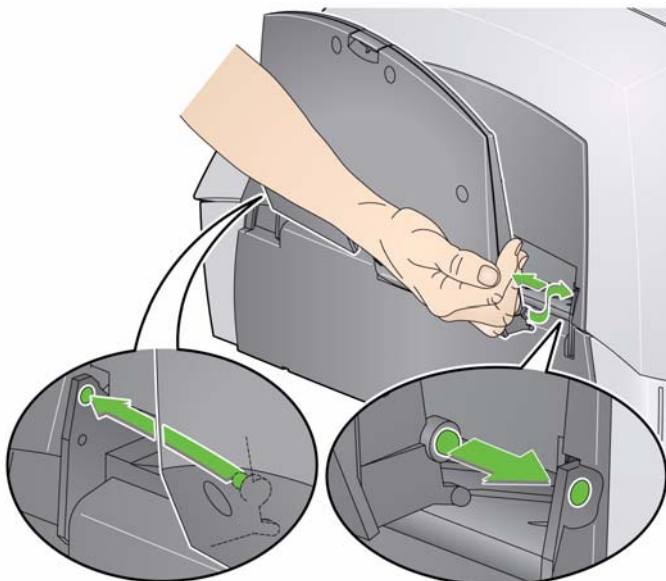
3. [Welcome] 画面が表示されたら、**[Next]** をクリックします。
4. ソフトウェアライセンス使用許諾を読み、**[I Agree]** をクリックします。インストールが始まり、進行状況が表示されます。
5. インストールが完了したら、**[Finish]** をクリックします。
6. インストール CD を CD-ROM ドライブから取り出します。

入力トレイと出力トレイの取り付け

入力トレイと出力トレイは定位置にカチッと収まるようになっています。入力トレイと出力トレイは、書類サイズに合わせて調節することができます。

入力トレイの取り付け

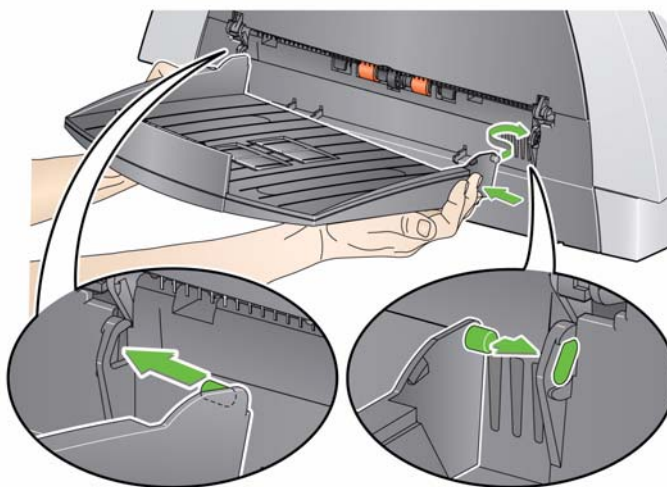
1. スキャナー本体の入力トレイ用の穴の位置を確認します。
2. 入力トレイピンと穴を合わせます。



3. 入力トレイを正しく取り付けます。

出力トレイの取り付け

1. スキャナー本体の出力トレイ用の穴の位置を確認し、出力トレイのピンを穴に合わせます。

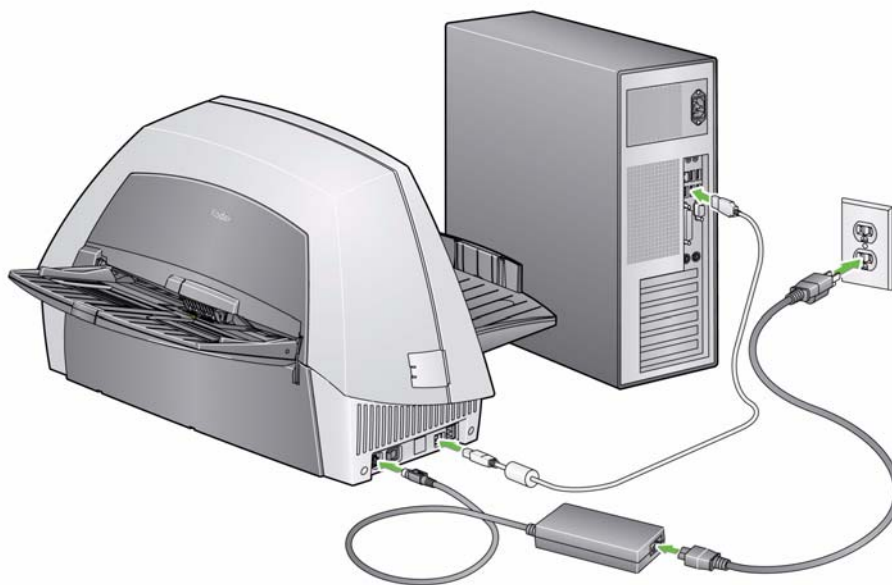


2. 出力トレイを正しく取り付けます。

電源コードと USB ケーブルの接続

スキャナーソフトウェアドライバのインストール後、電源アダプタと電源コード、USB ケーブルをスキャナーに接続します。以下の図を参照して、正しく接続します。電源コンセントがスキャナーまで 1.52 m (5 フィート) 以内にあり、余裕を持ってコンセントに接続できることを確認してください。

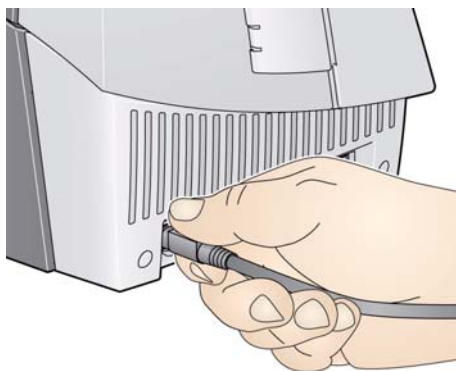
1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 選択した電源コードを電源アダプタに接続します。
注：電源コードが電源アダプタにしっかり接続されていることを確認してください。
3. 電源アダプタに付属しているコードをスキャナーの電源ポートに接続します。
4. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。



5. USB ケーブルをスキャナー側面にある USB ポートに接続します。
6. USB ケーブルのもう一方のコネクタを PC の USB ポートに接続します。

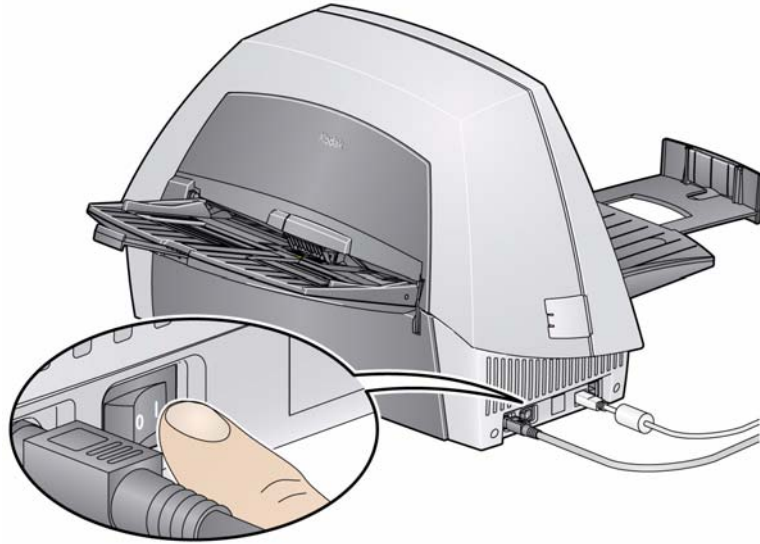
電源コードの取り外し

- 電源コネクタのつばの矢印のところに親指と人差し指で握り、スキャナーから引き抜きます。



スキャナーの電源を入れる

- ・ スキャナー側面のボタンを押してオンの位置 (I) にします。



スキャナーの電源を入れると、スキャナー側面の緑色のインジケータが点滅し、スキャナーが一連のセルフテストを実行していることを示します。

オペレーティングシステムがスキャナーとインストールしたソフトウェアを同期させるまで待機します。

初期化処理が終了してスキャン準備完了になると、LED インジケータが点滅しなくなり、緑色に点灯した状態になります。

3 スキャン

目次

スキャナーの準備	3-1
原稿の準備	3-3
スキャンアプリケーションの選択	3-4

スキャナーの準備

1. スキャナーの電源がオンで、スキャンの準備が整っている（緑色のインジケータが点灯している）ことを確認します。
2. スキャン要件に合わせて出力トレイを調整します。
 - 出力トレイは 3 つの位置に調整できます。



長尺原稿用の最も低い位置

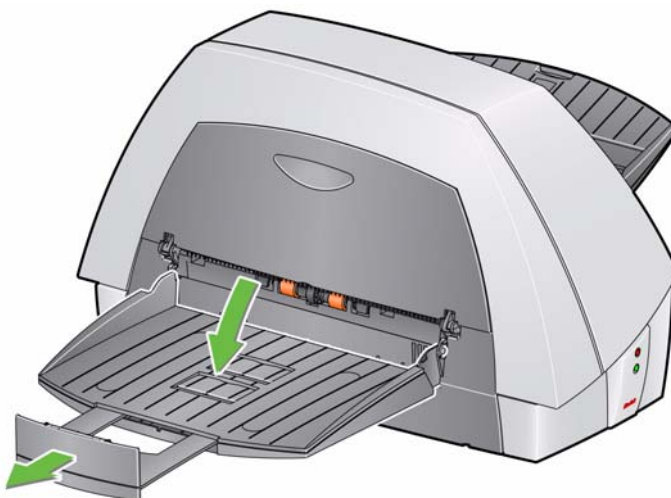


レターまたは A4 サイズ原稿用の
中間位置

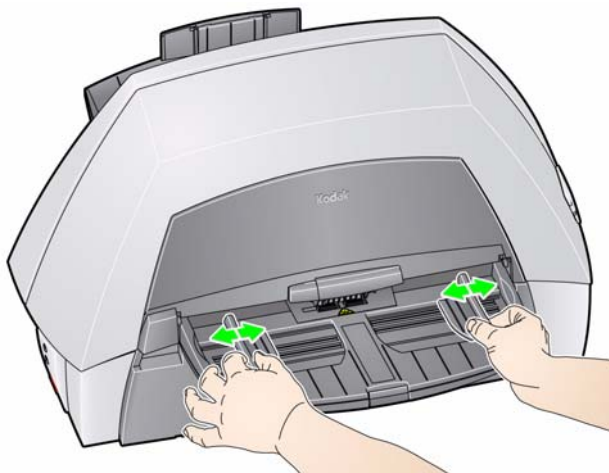


一番高い位置（小切手や小さい原稿用）

- 長尺の原稿をスキャンしている場合、トレイエクステンションを適切な位置まで引き出して使用してください。
- 出力トレイには 2 つの原稿ストッパーがあります。ストッパーを上げるとスキャン済みの小さな原稿をまとめやすくなります。



- 入力トレイのサイドガイドを調整（外側～内側にスライド）してスキャンする原稿のサイズに合わせます。



注：スキャナーを使用していない際は、入力トレイと出力トレイを折りたたみ、占有スペースを抑えます。



原稿の準備

1. 標準用紙サイズの前稿は、スキヤナーへ簡単に給紙できます。スキヤンする原稿は、先端を揃えて入力トレイの中央に重ねます。これにより、フィーダから原稿が1枚ずつスキヤナーに送られるようになります。
2. ホチキスやクリップは、スキヤンする前にすべて取り除いてください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキヤナーや原稿が破損する場合があります。
3. スキヤンを開始する前に、用紙上のすべてのインクと修正液が乾燥していることを確認してください。
4. 破れたりしわになっているページがある原稿でも、このスキヤナーでは問題なくスキヤンすることができます。ただし、原稿の破損状態によっては例外もあります。破損した原稿をスキヤナーに搬送できるかどうか不確かな場合は、原稿を保護用クリアシートに入れてください。カバーに入った原稿は、1枚ずつ手動で送ってください。この際、ギャップリリースレバーを持ち上げながら、カバーの閉じ代を先に向けて給紙してください。

注：オプションのコダック A4 または A3 フラットベッドでは脆弱な原稿をスキヤンすることもできます。

5. スキヤンする原稿をスキヤナーの入力トレイにセットします。原稿の片面のみをスキヤンする場合やコダック i1410 スキヤナーを使用している場合は、スキヤンする面を入力トレイに向けてセットします。



注：連続給紙では、追加原稿の束をフィーダに配置して、「無限に」給紙することができます（オペレータの補助が必要）。フィーダに残っている原稿が数枚になってから、この上に次の原稿の束を下向きに追加します。

スキャンアプリケーションの選択

スマートタッチ — コダックのスマートタッチで、次のような一般的なスキャンタスクをすばやく簡単に実行できます。

- 受信した顧客からのメッセージをスキャンして支店内の社員と共有する
- 紙ベースのレポートからサーチャブル PDF を作成する
- 請求書をスキャン、FAX、印刷する
- 写真をスキャンしてプレゼンテーションに追加する

9 種類の事前設定されたタスクのショートカットがあります。ショートカットを修正して名前を変更し、独自のタスクを作成できます。送信する前に、イメージをプレビューして簡単に編集（ズーム、回転、クロップなど）することもできます。

スマートタッチの詳細については、インストール CD の『スマートタッチユーザーズガイド』を参照してください。

注：スマートタッチは、コダックドライバソフトウェアと同時にインストールされます。

4 印字

目次

プリンタの仕様.....	4-2
インクカートリッジの取り付け / 交換.....	4-3
大容量インクカートリッジ.....	4-4
DP1 インクカートリッジ.....	4-6
印字テストの実行	4-7
印字位置の変更.....	4-10
インクブロッタの交換.....	4-11
消耗品	4-12
問題の解決	4-13

注：

- コダック i1405 および i1410 スキャナーには印字機能はありません。
- プリンタの使用と印字文字列の設定に関する詳細は、CD に収録されているイメージ処理ガイド、またはお使いのスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

プリンタは、スキャナーの最高速度で印字可能です。印字内容として、日付、時刻、カウンタ値、固定文字列を使用できます。

固定情報（バッチ名、オペレータ名など、すべての原稿に対して同じになる情報）と可変情報（カウンタ値など、スキャンするページごとに異なる情報）の両方を印字文字列として設定できます。固定文字列フィールドはスキャンアプリケーションによって制御されます。つまり、ソフトウェアによりユーザが入力できる情報をプリンタに送信できます。

プリンタの制御や機能はすべて、ISIS ドライバまたは TWAIN データソースから設定できます。印字はスキャンセッションごとに有効 / 無効にする必要があります。通常は、*[ショートカットの設定]* (TWAIN データソース) を使用して設定します。

注：

- プリンタの使用時には、スキャナーの搬送路を毎日クリーニングしてください。
- 10 cm 以下の原稿には印字できません。
- インクカートリッジは、スキャナーの電源を入れる前に取り付ける必要があります。電源を入れた後に取り付けた場合、スキャン時にエラーが発生する場合があります。

プリンタの仕様

特性	説明
最大行数	1
最大文字数	40
印字位置（垂直方向）	アプリケーションで設定
印字方向	0 度、90 度
フォントサイズ	太字または標準 注：半角カナなど、太字フォントがサポートされていない場合もあります。
印字面	裏面（スキャン後に印字）
原稿の先端からの最小印字開始位置	0.89 cm
使用可能な固定文字フィールド	アプリケーションを使ったユーザ指定のメッセージ
使用可能な可変フィールド	最大 9 桁の原稿の連番、日付、4 桁の時刻
サポートされる言語	すべての表音言語に対応します。例：オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、日本語（半角カナ）
DP1 インクカートリッジ	
印字位置（横方向）	14 ヶ所、手動設定
インクカートリッジ	黒：CAT No. 135 5155 1 パック 10 個入り
インクカートリッジ 1 個あたりの印字可能文字数	350,000～450,000（使用するフォントサイズにより異なる）
大容量インクカートリッジ	
印字位置（横方向）	9 ヶ所、手動設定
インクカートリッジ	黒：HP-C6602A 赤：HP-C6602R
インクカートリッジ 1 個あたりの印字可能文字数	1,500,000 ～ 2,000,000（使用するフォントサイズにより異なる）

インクカートリッジの 取り付け / 交換

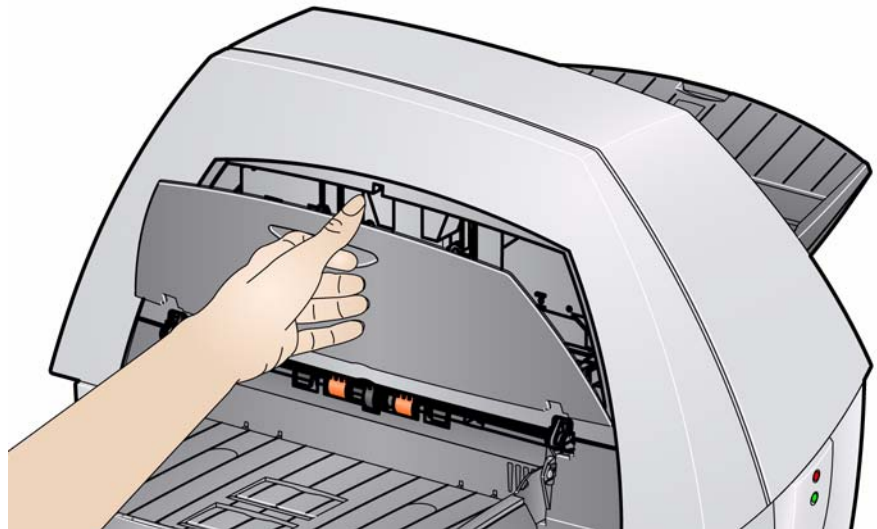
プリンタを使用する前に、インクカートリッジを取り付ける必要があります。

取り付け後、以下の状況が発生した場合は、インクカートリッジを交換する必要があります。

- 印字が薄かったり、濃度が不均一な場合
- 文字が欠落している場合
- 印字テストで印字品質が不均一の場合
- クリーニングを行っても印字品質が向上しない場合

重要: 空のインクカートリッジの廃棄は、国や地域の法律に従ってください。

1. スキャナーの後部にあるプリンタアクセスドアの位置を確認します。
2. 指をプリンタアクセスドアハンドルの下に差し込んで、ドアを手前に引きます。

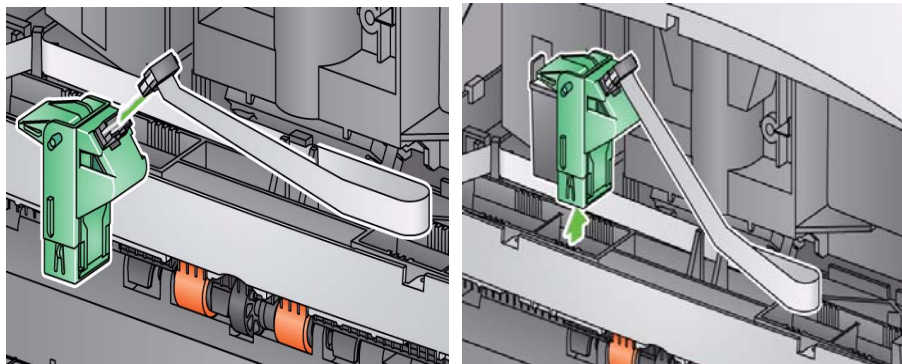


3. プリンタアクセスドアを持ち上げてスキャナーから取り外します。
4. 大容量インクカートリッジの場合は、次の手順に進みます。DP1 インクカートリッジの場合は、本ガイドの「DP1 インクカートリッジ」に進んでください。

大容量インクカートリッジ

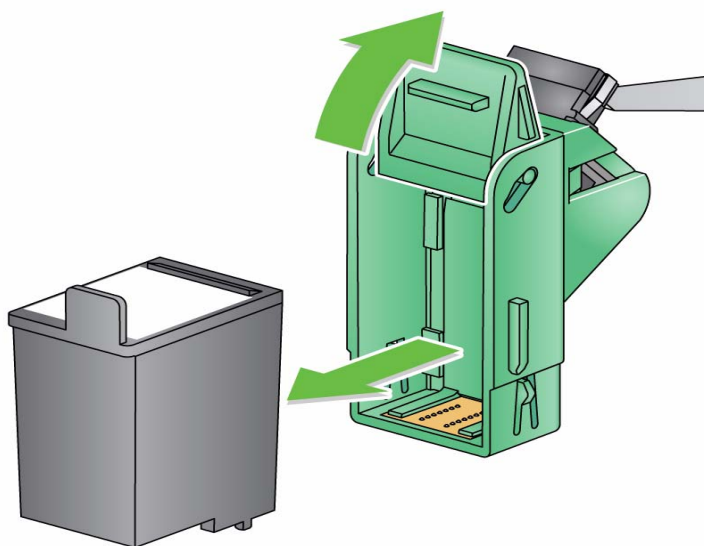
- 初めてインクカートリッジを取り付ける場合、プリンタケーブルのコネクタをインクカートリッジホルダにしっかりと押し込みます。

注：インクカートリッジを交換する場合は、プリンタケーブルはすでに接続されているので、取り付け場所からインクカートリッジホルダを抜いて、空のインクカートリッジを取り外します。



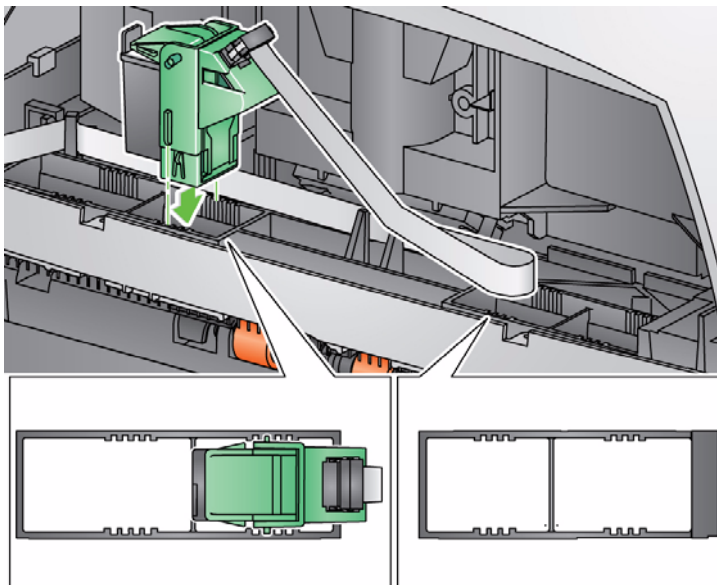
プリンタケーブルのコネクタをインクカートリッジホルダにしっかりと押し込みます。

- インクカートリッジのパッケージを開封し、新しいインクカートリッジからシールを剥がします。
- インクカートリッジホルダの緑のタブを持ち上げ、内部にインクカートリッジを差し込んで、タブを閉じます。



注：プリンタケーブルが外れている場合は、元の位置に接続してください。

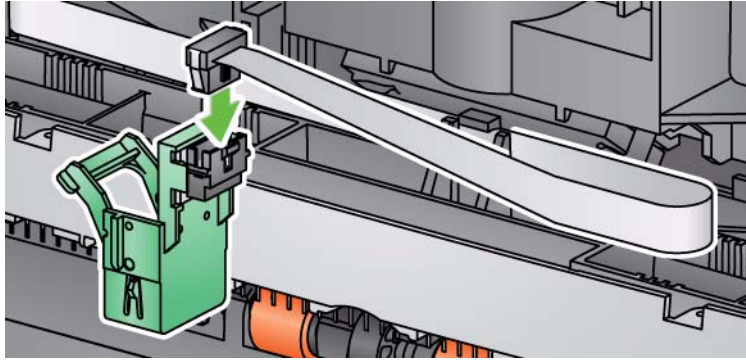
8. インクカートリッジホルダを適切な位置に取り付けます。詳細については、この章の「印字位置の変更」を参照してください。



9. インクカートリッジホルダを取り付け、プリンタアクセスドアを閉じます。
10. 印字テストを実行します。手順については、本ガイドの「印字テストの実行」を参照ください。

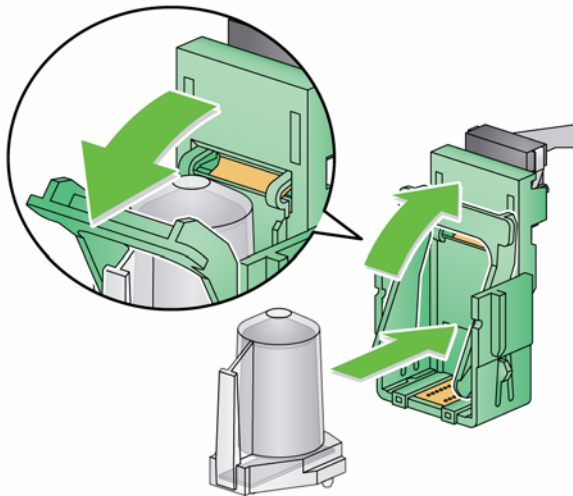
DP1 インクカートリッジ

1. 初めてインクカートリッジを取り付ける場合、プリンタケーブルのコネクタをインクカートリッジホルダにしっかりと押し込みます。



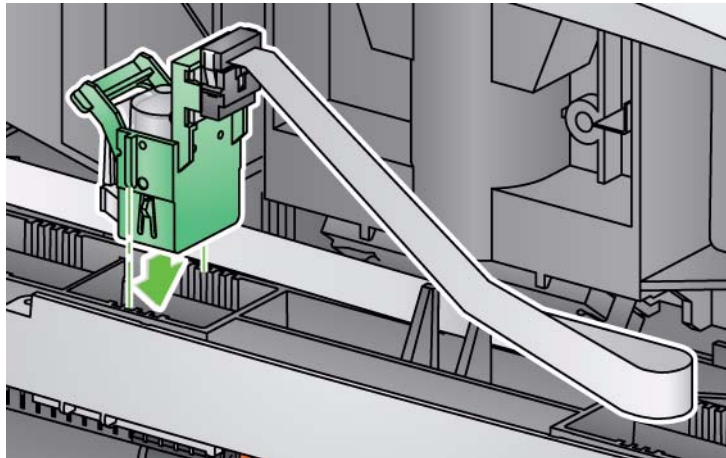
注：インクカートリッジを交換する場合、プリンタケーブルがすでに接続されているので、取り付け場所からインクカートリッジホルダを抜いて、空のインクカートリッジを取り外します。

2. 新しいインクカートリッジを開封し、インクカートリッジホルダに差し込んでロックします。



注：プリンタケーブルが外れている場合は、元の位置に接続してください。

3. インクカートリッジホルダを適切な位置に取り付けます。詳細については、この章の後半にある「印字位置の変更」を参照してください。



4. インクカートリッジホルダを取り付け、プリンタアクセスドアを閉じます。
5. 印字テストを実行します。手順については、次の節を参照してください。

印字テストの実行

印字テストは、コダック Scan Validation Tool（スキャンバリデーションツール）を使用します。

1. 入力トレイに白紙をセットします。
2. インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。
3. **[スタート]>[プログラム]>[Kodak]>[Document Imaging]>[Scan Validation Tool]** を選択します。



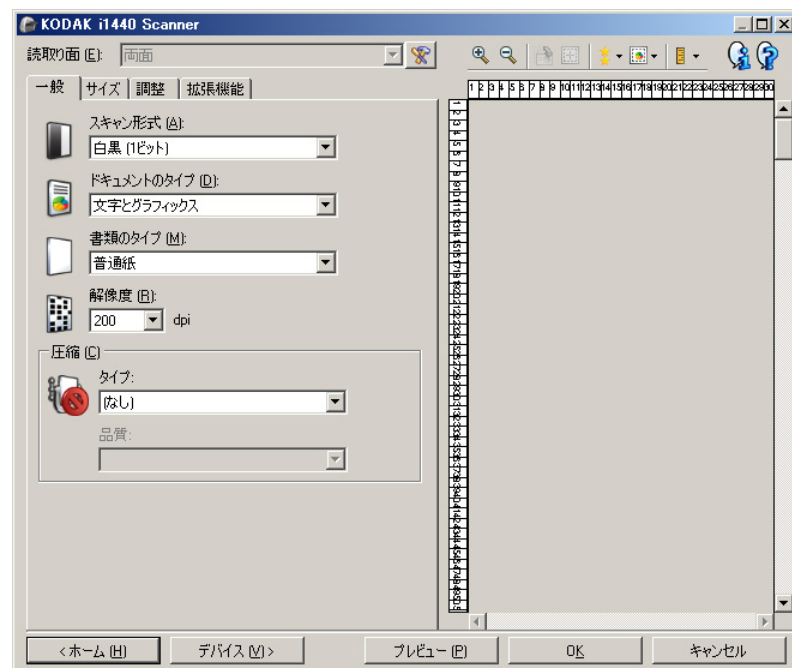
4. **[ドライバの種類]** から **[TWAIN]** を選択してから、**[Kodak Scanner: i1410/i1420/i1440]**。[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。



5. **[セットアップ]** アイコンをクリックします。[Scan Validation Tool] メインウィンドウが表示されます。

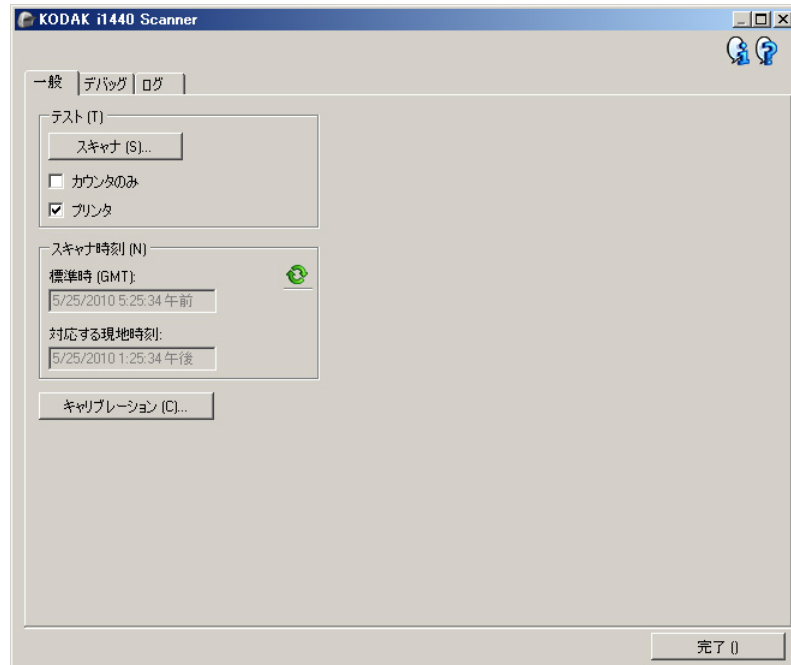


6. **[デフォルト]** のショートカットを選択し、**[設定]** をクリックします。



7. **[一般]** タブで **[デバイス]** ボタンをクリックします。

8. [デバイス - 一般] タブで [診断] ボタンをクリックします。[一般 - 診断] ウィンドウが表示されます。



9. [プリンタ] チェックボックスを有効にして、[完了] をクリックします。
10. 入力トレイの白紙をスキャンします。
11. テストパターンを確認します。テストパターンにむらがある場合、プリントヘッドのクリーニングまたはインクカートリッジの交換が必要です。



許容できる



許容できない：パターン
にむらがある

印字位置の変更

印字の横位置は手動で変更することができます。

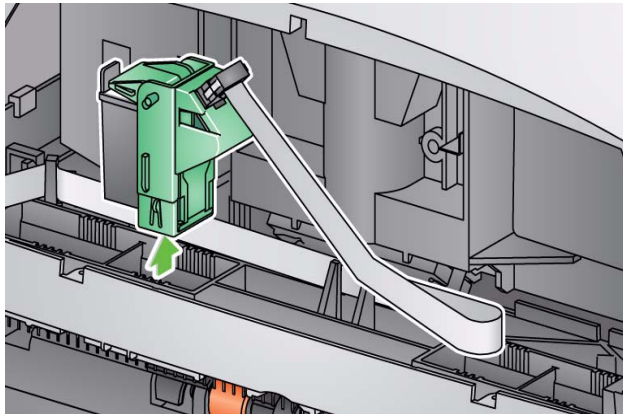
注：印字位置の変更方法は、DP1 インクカートリッジと大容量インクカートリッジのいずれも同じです。図は使用するプリンタによって若干異なります。

1. スキャナーの後部にあるプリンタアクセスドアの位置を確認します。
2. 指をプリンタアクセスドアハンドルの下に差し込んで、ドアを手前に引きます。
3. プリンタアクセスドアを持ち上げてスキャナーから取り外します。

注：

- 印字位置が 14 ヶ所ある場合でも、大容量インクカートリッジを使用している場合は、9ヶ所になります。
- DP1 インクカートリッジを使用している場合は、14 ヶ所すべての印字位置に印字できます。
- 印字位置は、プリンタレール上の小さなつめで確認することができます。
- 情報がすべて印字されていない場合でも、印字は原稿の後端から約 1.27 cm のところで自動的に停止します。

4. インクカートリッジホルダを持ち上げ、取り外します。

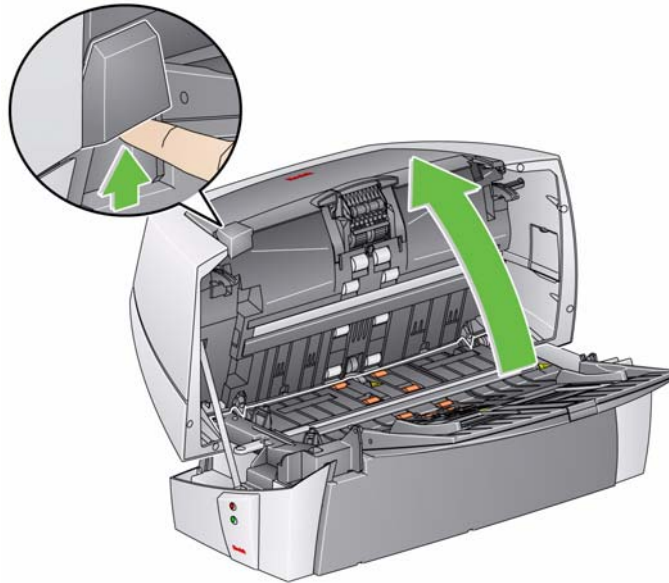


5. インクカートリッジホルダを適切な位置の溝に取り付けます。
6. プリンタアクセスドアを元に戻します。

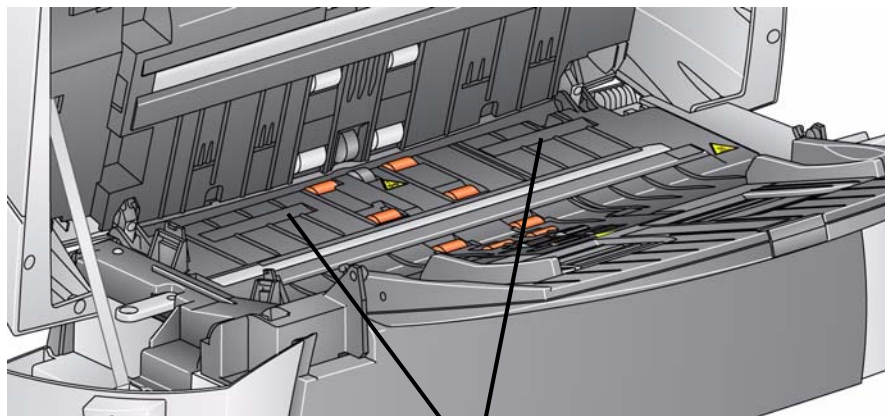
インクブロッタの交換

スキャナー内の搬送部に漏れたインクは、2ヶ所のインクブロッタが吸収します。インクブロッタの追加注文は、後述の「アクセサリと消耗品」の項を参照してください。

1. スキャナーカバーリリースラッチを持ち上げ、スキャナーカバーを開きます。



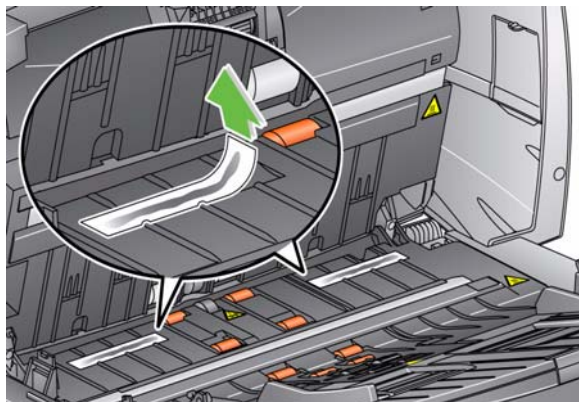
2. 2ヶ所のインクブロッタチャンネルの位置を確認します。これらのチャンネルにインクブロッタを貼ります。



ブロッタチャンネル

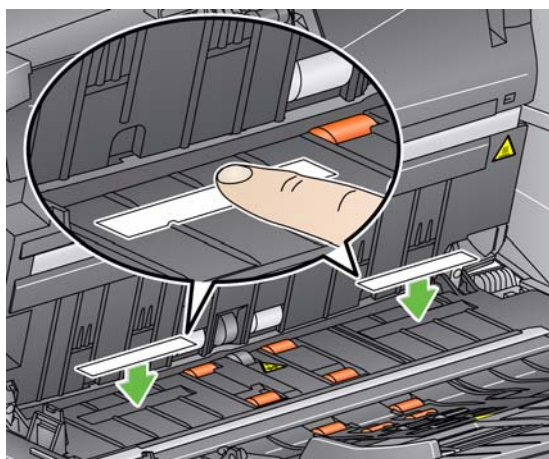
3. インクブロッタを交換する場合は、手順4に進んでください。それ以外の場合は、手順6に進みます。

4. インクブロッタをチャンネルからはがし、使用済みストリップを破棄します。



5. 新しいインクブロッタの台紙をはがします。

6. 片方のチャンネルにインクブロッタを取り付けます。



注：インクブロッタを正しく取り付けないと、紙詰まりの原因になります。

7. インクブロッタの糊の付いている面をチャンネル内にしっかりと押しつけます。
8. もう一つのブロッタにも手順4～7を繰り返します。
9. スキャナーカバーを下ろして、カチッと音がして定位置に収まるまでしっかりと押し込みます。

消耗品

以下の消耗品を購入できます。

説明	CAT No.
DP1 インクカートリッジ：インクカートリッジ/黒（10 個入り）	135 5155
インク ブロッタ（60 枚入り）	840 5425
DP1 用インクカートリッジホルダ	826 7486
大容量インクカートリッジ：インクカートリッジ（黒）(HP C6602A)	818 3386
大容量インクカートリッジ：インクカートリッジ（赤）(HP C6602R)	159 6832
大容量インクカートリッジ：インクカートリッジホルダー	113 3842

問題の解決

プリンタ使用時に発生した問題への対処方法については、以下のリストを参考にしてください。

問題点	解決方法
印字の品質が悪いまたは一定していない	• インクカートリッジが空でないことを確認します。 • インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 • インクカートリッジが正しい位置にあることを確認します。 • アプリケーションでプリンタが有効にされており、印字文字列が指定されていることを確認します。 • プリンタコネクタが確実に固定されていて、プリンタケーブルがしっかりと取り付けられているか確認します。 • 印字テストを実行して、すべてのインクジェットが正常に機能していることを確認します。 • プリントヘッドをクリーニングします（下の「プリントヘッドの乾燥による印字開始時の問題」を参照）。
プリントヘッドの乾燥による、印字開始時の問題	スキャナーからプリンタカートリッジを外し、インクカートリッジのインクジェットを濡れた布で軽くたたいた（注：拭かないでください）後に、インクカートリッジを交換して、もう一度実行してください。
印字しない	• 目的の印字位置に、インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 • プリントヘッドからテープが外されていることを確認します。

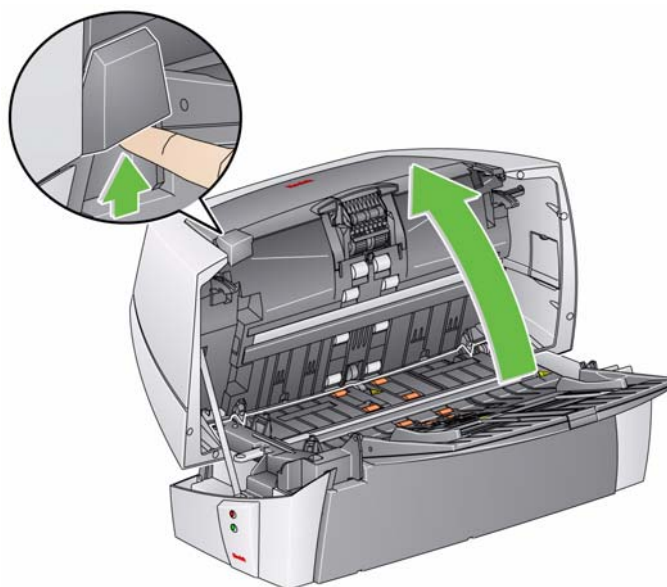
5 メンテナンス

目次

スキャナーカバーの開け方	5-1
クリーニング手順	5-2
ローラと搬送部のクリーニング	5-3
セパレータ モジュールのクリーニング	5-4
フィードモジュールのクリーニング	5-5
イメージングガイドのクリーニング	5-7
トランスポートクリーニングシートによるクリーニング	5-7
交換手順	5-8
フィードモジュールとフィードモジュールタイヤの交換	5-9
セパレータモジュールとセパレータモジュールタイヤの交換	5-11
プリセパレーションパッドの交換手順	5-13
イメージングガイドの交換手順	5-14
アクセサリと消耗品	5-17

スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーの電源を切ります。
2. 入力トレイから原稿を取り除きます。
3. スキャナーカバーリリースラッチを持ち上げ、スキャナーカバーを開きます。



4. スキャナーのクリーニングやパーツの交換後、スキャナーカバーが完全に閉まるまで両手でしっかりと押さえます。

クリーニング手順

最適なイメージ品質を保つには、定期的にスキャナーをクリーニングして予防的なメンテナンスを施す必要があります。

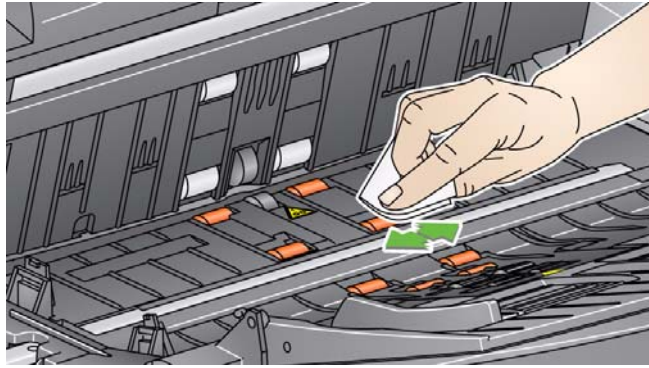
原稿の種類によっては、紙片や紙くずが通常より多く発生するため、推奨スケジュールより頻繁にクリーニングしなければならない場合があります。

スキャナーのクリーニングやパーツを交換する前に、以下を参照してください。

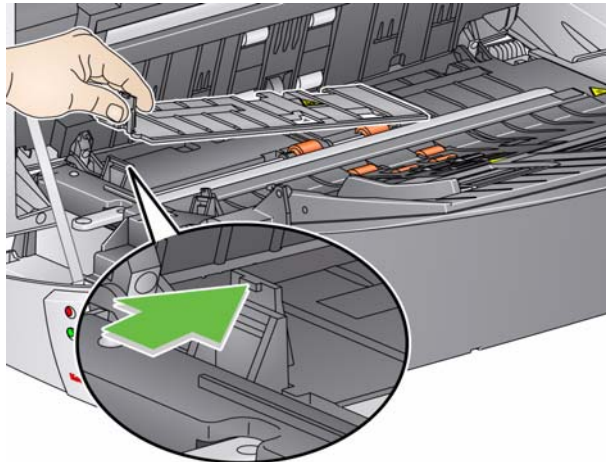
- フィードモジュールやセパレータモジュールのゴム製タイヤにある程度のゴミが付いている状態は正常です。タイヤのカスは必ずしもタイヤの磨耗や損傷を意味するものではありません。クリーニング後、タイヤを点検し、必要に応じてセパレータモジュールまたはフィードモジュールを交換してください。
- ローラやタイヤをクリーニングした場合は、ローラやタイヤが完全に乾いてからスキャンしてください。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。未承認の洗浄液や溶剤を使用すると、ゴムタイヤに損傷を与える場合があります。
- 密閉された場所でクリーナを使用しないでください。適切な換気が必要です。
- 高熱面にクリーナを使用しないでください。使用する前に、室温になるまで面を冷ましてください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。
- 推奨されるクリーニング用品のほかに、掃除機を使用してスキャナーのゴミを取り除くこともできます。
- 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌のかさつきの原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス後は、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、『化学物質安全データシート (MSDS)』を参照してください。MSDS は、コダックの Web サイト www.kodak.com/go/MSDS から手入できます。
- ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS を参照してください。

ローラと搬送部のクリーニング

1. ローラクリーニングパッドを使用して、ローラを手で回転させながら汚れを拭き取ります。



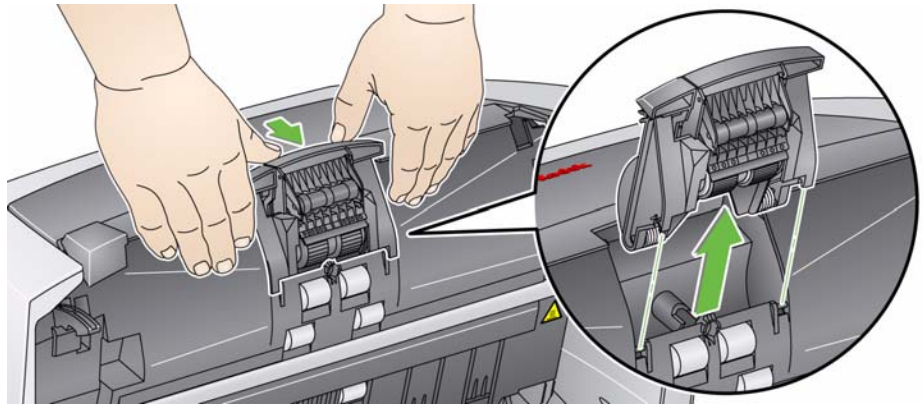
2. ドライブローラ周囲のほこりやゴミを取り除きます。
3. ローラクリーニングパッドで上下の搬送部を拭き取ります。
4. 乾いた静電クリーニングクロスで搬送部を乾拭きします。
5. リアローラカバーの左側にある突き出ているノブを押し、カバーを引き上げて取り外します。



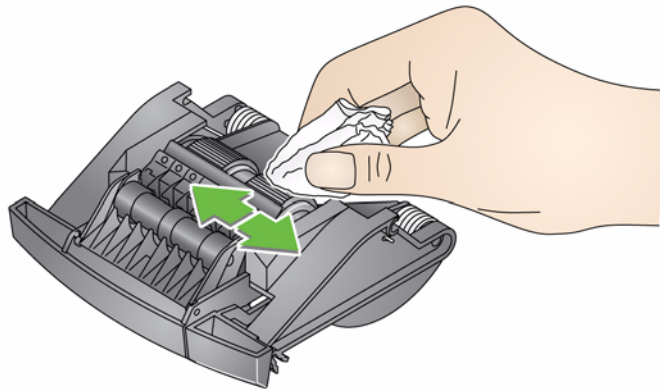
6. リアドライブローラカバーの下のほこりやゴミを取り除きます。
7. リアドライブローラカバーを取り付けます。

セパレータモジュールのクリーニング

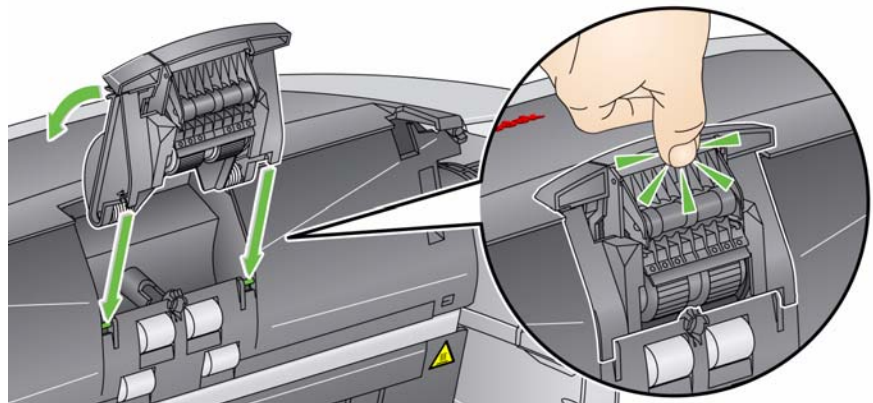
1. スキャナーカバーリリースラッチを持ち上げ、スキャナーカバーを開きます。
2. セパレータモジュールを持ち上げ、取り外します。



3. ローラクリーニングパッドを使用して、セパレータモジュールのタイヤを手で回転させながら、汚れを拭き取ります。



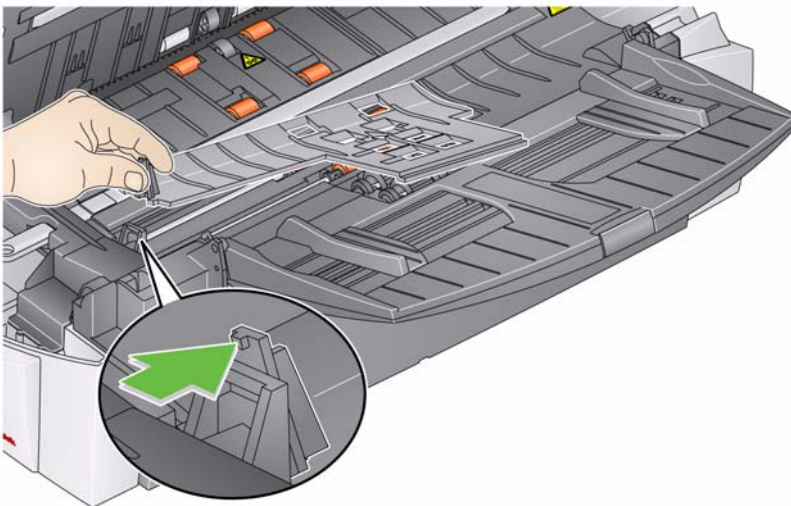
4. タイヤを点検します。セパレータモジュールタイヤに消耗や損傷している兆候が見える場合には、セパレータモジュールを交換します。この章の後半にある「セパレータモジュールとセパレータモジュールタイヤの交換」を参照してください。
5. セパレータモジュールを挿入し、軸の端を揃えます。



6. カチッと音がして定位置に収まるまでセパレータモジュールを押し込みます。

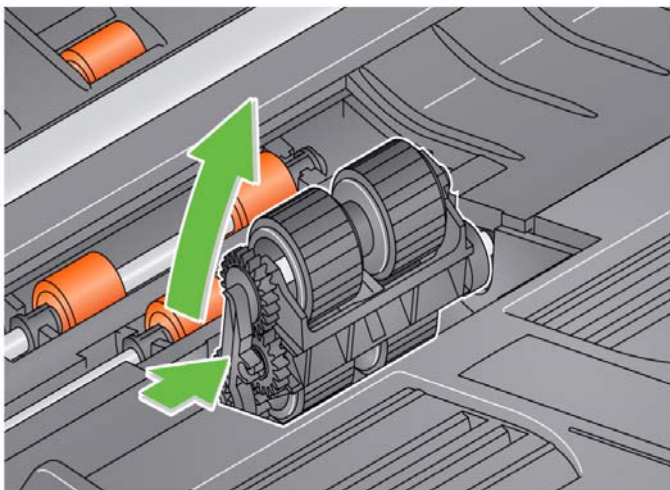
フィードモジュールのクリーニング

1. フロントドライブローラカバーの左側にある、突き出ているノブを押し、カバーを引き上げて取り外します。



注：フロントローラカバーを取り外す際に、入力トレイを少し持ち上げる必要が生じる場合があります。

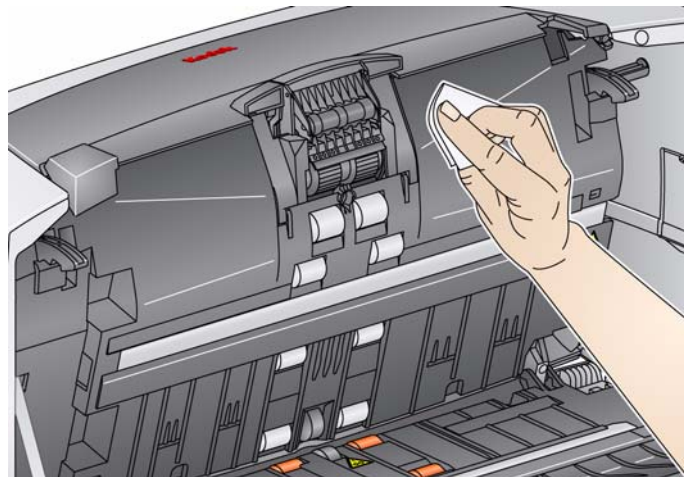
2. フィードモジュールを右に押してから持ち上げて取り外します。



3. フィードモジュールのタイヤを回しながら、ローラークリーニングパッドで拭いてください。



4. フィードモジュールを確認します。フィードモジュール タイヤに消耗または損傷している兆候が現れた場合には、フィード モジュールを交換します。この章の後半にある「フィードモジュールとフィードモジュールタイヤの交換」を参照してください。
5. フィードモジュールの下にあるトレイとフロントローラカバーからほこりやゴミを取り除きます。
6. フィードモジュールのピンを合わせ、モジュールを右方向に押して定位置に収めます。
7. フロントローラカバーを再び取り付けます。
8. ローラクリーニングパッドで上下の搬送部を乾拭きします。

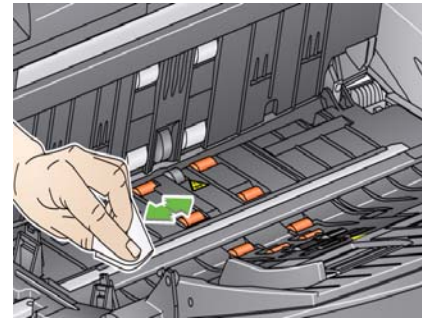
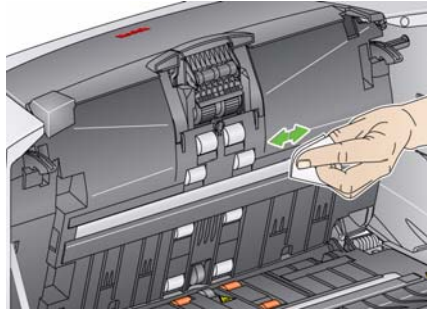


9. 乾いた静電クリーニングクロスで搬送部を乾拭きします。

イメージングガイドのクリーニング

イメージガイドの見える面（外側）をきれいにします。イメージングガイドの内側にほこりや汚れがない限り、クリーニングのためにイメージングガイドを取り外す必要はありません。イメージングガイドを取り外す必要がある場合は、この章の後半にある「イメージングガイドの交換手順」を参照してください。

1. 静電クリーニングクロスを使用して上下のイメージングガイドの汚れを拭き取ります。



2. 軽く湿った静電クリーニングクロスでイメージングガイドを乾拭きします。
3. スキャナーカバーが完全に閉じるまで、両手でしっかりと押さえます。

トランスポートクリーニングシートによるクリーニング

1. トランスポートクリーニングシートの台紙を外します。
2. クリーニングシートに合わせてサイドガイドを調整します。
3. ドライブローラに付着したゴミがすべて無くなるまでクリーニングシート（粘着面を上にする）を縦長方向にしてスキャナー搬送部に給紙します。
4. 次にクリーニングシートを縦向きにしてサイドガイドを調節し、糊の付いた面を上にしてスキャナーに送り、ドライブローラからゴミがすべて取り除かれるまで繰り返します。
5. 次に同じクリーニングシートを使用してステップ3と4を繰り返しますが、今度は糊の付いた面を下にしてスキャナーに送り、ドライブローラからゴミをすべて取り除きます。

注：クリーニングシートがかなり汚れたら、破棄して新しいシートを使用してください。

交換手順

ここでは、次の部品の交換手順について説明します。交換頻度については、以下の説明を参考にしてください。耐用年数については保証されていません。お客様の運用環境、原稿の種類、スキャン対象原稿の状態、推奨する清掃 / 交換手順の遵守状況によって、消耗品の寿命は異なります。

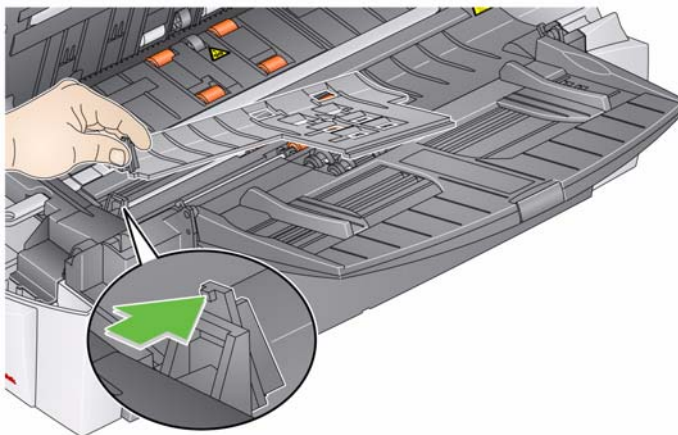
- セパレータモジュール：約 20 万枚
- プリセパレーションパッド：約 25 万枚
- フィードモジュール 約 50 万枚
- イメージングガイド：傷が付いたら交換してください

注：

- コダックスキャナーは、さまざまな種類、サイズ、厚みの原稿を給紙できる、交換可能なタイヤを使用しています。タイヤの寿命や性能は、利用する原稿セット、搬送路とタイヤの清掃頻度、推奨するタイヤの交換スケジュールの遵守状況により異なります。後述の清掃手順に従って作業を行っても、重送、紙詰まり、フィーダパフォーマンスの低下などの問題が頻発する場合は、タイヤを交換してください。
- 特定の用紙タイプ（ノンカーボン用紙や新聞紙）を使用した場合、クリーニングを定期的に行わなかった場合、推奨品以外のクリーニング液を使用した場合などは、ローラの寿命が短くなる場合があります。

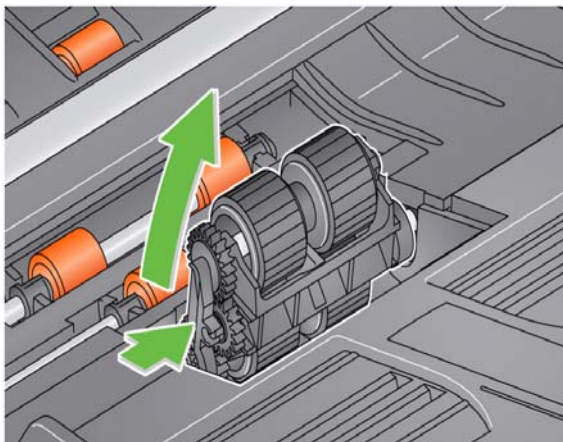
フィードモジュールとフィードモジュールタイヤの交換

1. スキャナーカバーリリースラッチを持ち上げ、スキャナーカバーを開きます。
2. フロントドライブローラカバーの左側にある、突き出ているノブを横に押し、カバーを引き上げて取り外します。



注：フロントローラカバーを取り外す際に、入力トレイを少し持ち上げる必要が生じる場合があります。

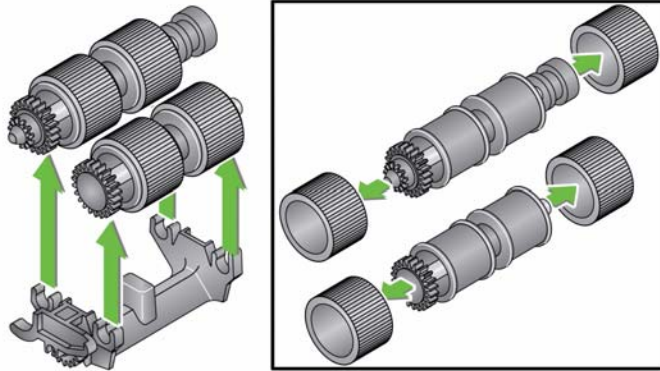
3. フィードモジュールを右に押してから持ち上げて取り外します。



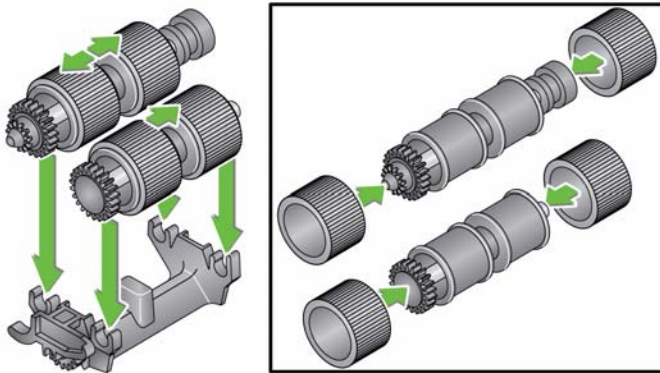
4. フィードモジュールを交換するだけの場合は、ピンに合わせて新しいフィードモジュールを適切な位置に取り付けます。

フィードモジュールのタイヤを交換する場合は、次の手順に進んでください。

5. 各コアアセンブリを持ち上げて取り外し、コアからタイヤを外します。



6. 新しいタイヤをゆっくり引き伸ばしながらコアに取り付けます。



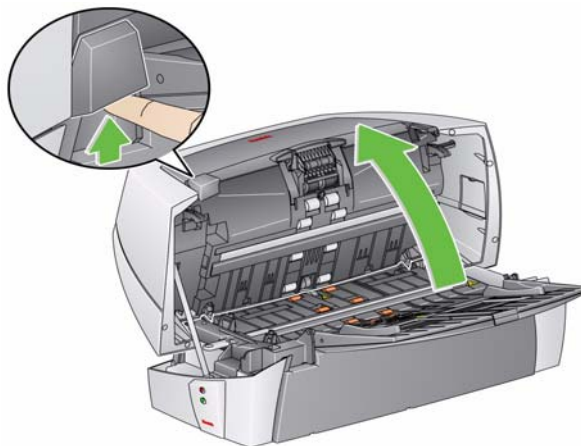
重要:

- タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。
- タイヤが芯の中心に平らに取り付けられていることを確認します。

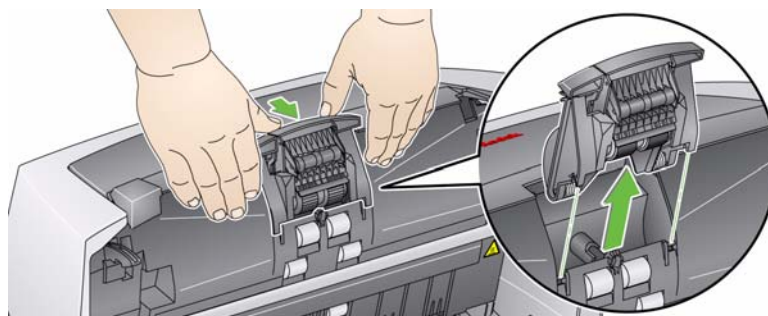
7. フィードモジュールのコアアセンブリをそれぞれ交換して、適切な位置に取り付けます。
8. フィード モジュールを取り付けます。
9. フロントローラカバーを再び取り付けます。
10. スキャナーカバーが完全に閉じるまで、両手でしっかりと押さえます。

セパレータモジュールとセパレータモジュールタイヤの交換

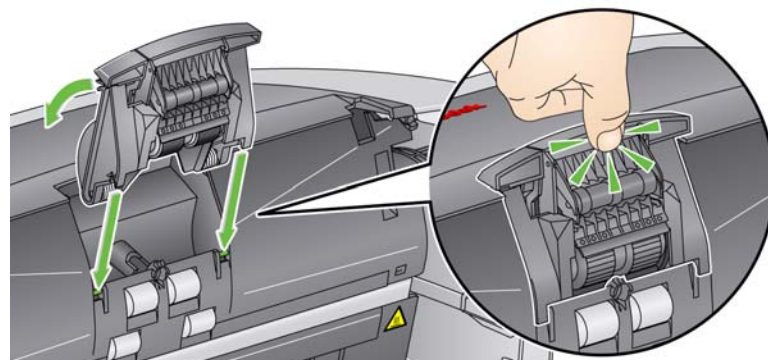
1. スキャナーカバーリリースラッチを持ち上げ、スキャナーカバーを開きます。



2. セパレータモジュールを持ち上げ、取り外します。



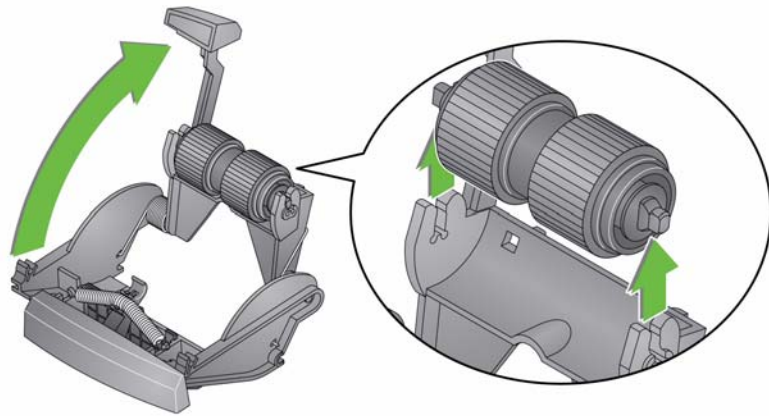
3. セパレータモジュールを交換するだけの場合は、軸に合わせて新しいセパレータモジュールを適切な位置に取り付けます。



セパレータモジュールのタイヤを交換する場合は、次の手順に進んでください。

4. セパレータモジュールを持ったまま、リリースレバーを後に回し、セパレータローラを取り出します。

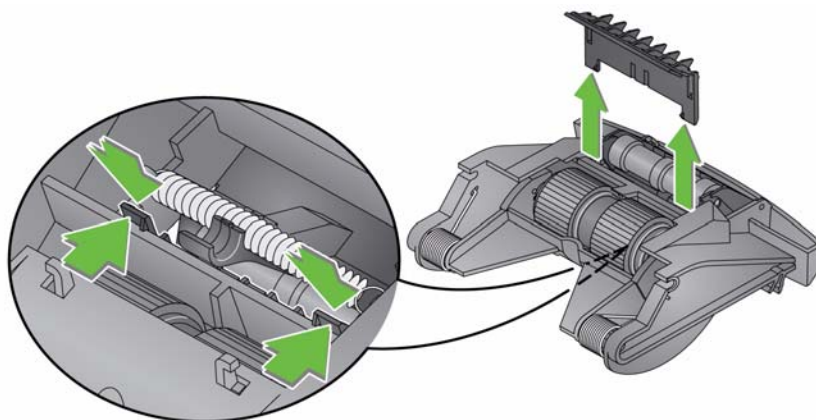
注：セパレータモジュールにはスプリングが付いているので、正しく取付けないと跳ね返るおそれがあります。充分に注意してください。



5. セパレータモジュールリリースレバーをゆっくりと元の位置に戻し、セパレータモジュールを横に置きます。
6. 各タイヤをコアから取り外します。
7. 新しいタイヤをゆっくり引き伸ばしながらコアに取り付けます。
*重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。
タイヤがコアの中心に取り付けられていることを確認します。*
8. コアを再び取り付けます（取り付ける向きはどちらでもかまいません）。
9. セパレータモジュールを取り付けます。
10. スキャナーカバーが完全に閉じるまで、両手でしっかりと押さえます。

プリセパレーションパッドの 交換手順

1. 前述の手順に従って、セパレータモジュールを取り外します。
2. セパレータモジュールのプリセパレーションパッドを確認します。
3. 両手でセパレータモジュールを持ち、セパレータモジュールの後部からわずかに出ている、プリセパレーションパッドの2つのタブを確認します。
4. 後部にあるプリセパレーションパッドのタブを、プリセパレーションパッドがセパレータモジュールから少し出るまで押します。
5. プリセパレーションパッドをつかみ、セパレータモジュールから引き抜きます。



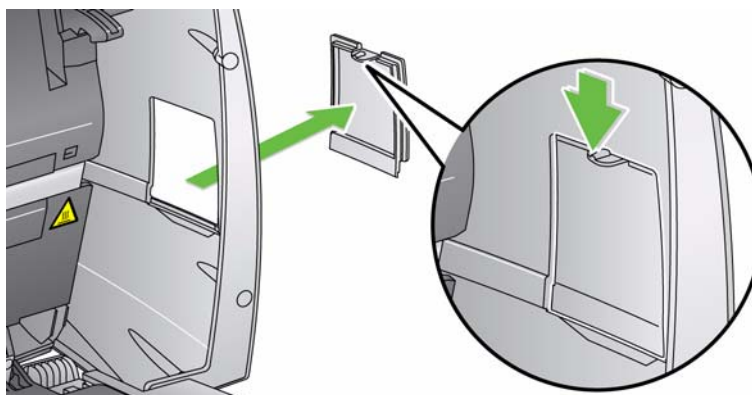
6. 使用済みのプリセパレーションパッドを破棄します。
7. 新しいプリセパレーションパッドのタブを、セパレータモジュールの溝に合わせます。
8. プリセパレーションパッドのフラップがセパレータモジュールタイヤに軽く付くまで、溝にしっかりと押し込みます。
9. セパレータモジュールを取り付けます。
10. スキャナーカバーが完全に閉じるまで、両手でしっかりと押さえます。

イメージングガイドの交換 手順

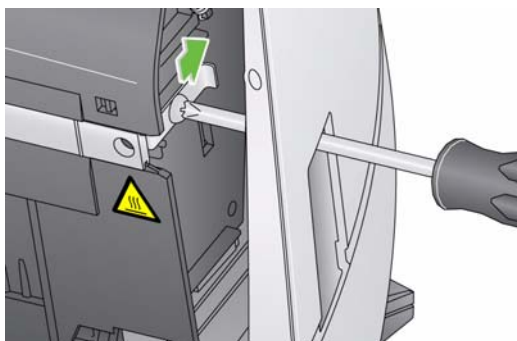
上部イメージングガイドの交換

(i1405、i1420、i1440 スキャナーのみ)

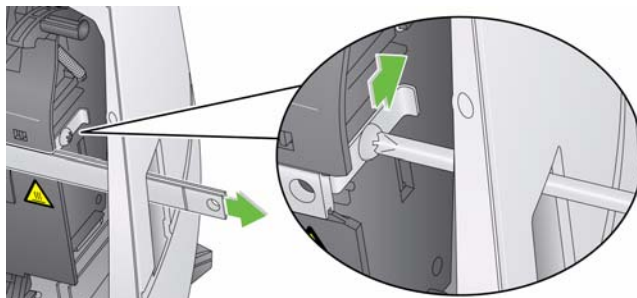
1. スキャナーカバーを開いて、スキャナーの右側にあるドアを確認します。サイドドアを取り外すと、開いた部分からドライバーを使って上部イメージングガイドを外せます。



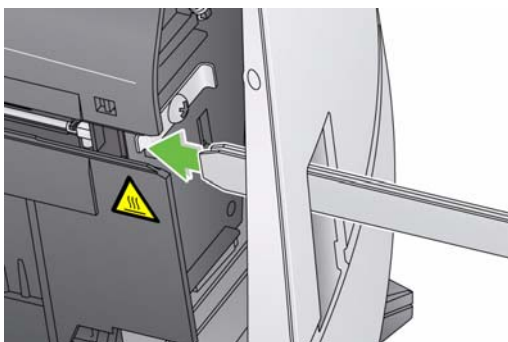
2. 上のタブを下に押しながらサイドドアを取り外します。サイドドアを側に置きます。
3. プラスドライバーを使って、上部イメージングガイドのブラケットからネジを緩めます（ブラケットをずらします）。



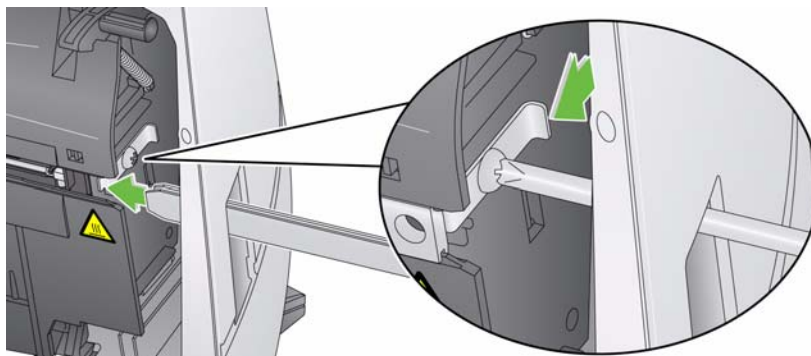
4. イメージングガイドの端をゆっくりと引っ張りながらスキャナーから取り外します。



5. 使用済みのイメージングガイドを廃棄します。
6. ガイドが収まる溝に溜まったほこりやゴミを取り除きます。ゴミがスキャナーの中に落ちないように注意してください。
7. 新しい上部イメージングガイドの両面を未使用の静電クリーニングクロスで拭きます。
8. 新しい上部イメージングガイドの両面を軽く湿った静電クリーニングクロスで乾拭きします。
9. 新しい上部イメージングガイドを溝に合わせてゆっくりと押し込みます。



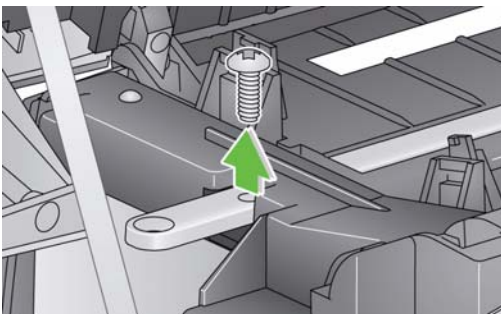
10. 上部イメージングガイドのブラケットを合わせてネジを締めます。



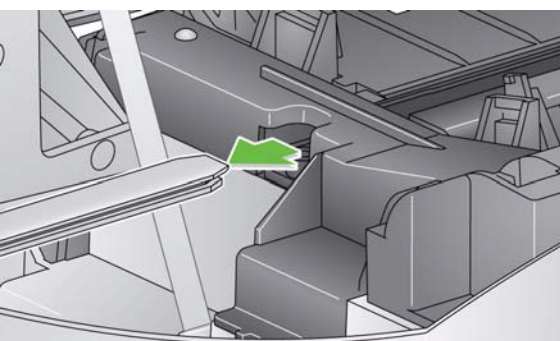
11. サイドドアを取り付けます。

下部イメージングガイドの交換（全スキャナーモデル対象）

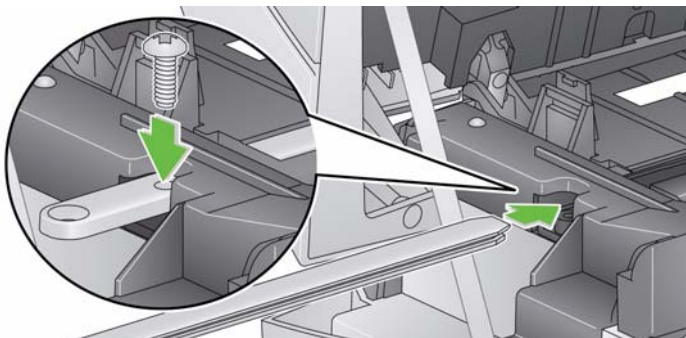
1. 下部のイメージングガイドの位置を確認します。
2. プラスドライバを使って、下部イメージングガイドからネジを取り外します。



3. イメージングガイドをスキャナーから取り外します。



4. 使用済みのイメージングガイドを廃棄します。
5. ガイドが収まる溝に溜まったほこりやゴミを取り除きます。ゴミがスキャナーの中に落ちないように注意してください。
6. 新しい下部イメージングガイドの両面を未使用の静電クリーニングクロスで拭きます。
7. 新しい下部イメージングガイドの両面を軽く湿った静電クリーニングクロスで乾拭きします。
8. 新しい下部のイメージングガイドを溝に合わせてゆっくりと押し込みます。



9. 下部イメージングガイドを合わせてネジを締めます。
10. スキャナーカバーが完全に閉じるまで、両手でしっかりと押さえます。

消耗品

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

消耗品	CAT No.
フィーダ交換キット i1400 シリーズスキャナー用	124 1066
フィーダ交換キット i1400 用ラージパック	821 5808
イメージングガイドセット、i1400 シリーズスキャナー用 (上部ガイド、下部ガイド、各 1 本入り)	197 8253
DP1 インクカートリッジ:インクカートリッジ(10 個入り)	135 5155
インクプロッタ (60 枚入り)	840 5425
DP1 インクカートリッジ:インクカートリッジホルダ	826 7486
大容量インクカートリッジ:インクカートリッジ (黒) (HP C6602A)	818 3386
大容量インクカートリッジ:インクカートリッジ (赤) (HP C6602R)	159 6832
大容量インクカートリッジ:インクカートリッジホルダ	113 3842
静電クリーニングクロス (144 枚入り)	896 5519
トランスポートクリーニングシート (50 枚入り)	169 0783
ローラクリーニングパッド (24 枚入り)	853 5981
コダック i1400 シリーズ A3 フラットベッド	179 6747
コダック i1400 シリーズ A4 フラットベッド	167 7288

付録 A 仕様

スキャナーの機種 / 速度	• i1405 スキャナー：両面カラスキャナー、45 枚 / 分（A4 横送り） • i1410 スキャナー：片面カラスキャナー、60 枚 / 分（A4 横送り） • i1420 スキャナー：両面カラスキャナー、60 枚 / 分（A4 横送り） • i1440 スキャナー：両面カラスキャナー、75 枚 / 分（A4 横送り）
スキャンテクノロジー	CCD グレースケール出力階調：256 階調（8 bit） カラー読取階調：48 bits (16 x 3) カラー出力階調：24 bits (8 x 3)
出力解像度	75、100、150、200、240、300、400、600、1200 dpi
出力ファイルフォーマット	TIFF、JPEG、RTF、PDF、サーチャブル PDF（同梱ソフトウェアによる出力）
スキャン領域	最大 30.5 x 86 cm のエリアをスキャン可能。詳細については、「システム要件」を参照してください。
最大書類サイズ	297 mm x 863 mm： i1440 長尺原稿モード：254 mm x 6.1 m（10 x 240 インチ）
最小書類サイズ	64 mm x 89 mm
書類の厚さおよび重量	34 ~ 413 g/m ² 用紙
フィーダ積載枚数	150 枚（60 g/m ² 用紙換算）
一日の推奨処理枚数	i1405: 9,000 枚 / 日 i1410/i1420: 12,000 枚 / 日 i1440: 15,000 枚 / 日
光源	蛍光灯
電源要件	AC 100 ~ 240 V（海外対応）、50/60 Hz
外形寸法	高さ： i1410: 23.6 cm i1405/i1420/i1440: 35.4 cm、36.4 cm（トレイを折りたたんだ状態） 幅： i1410: 54.7 cm i1405/i1420/i1440: 54.7 cm 奥行き：26.67cm（トレイなし）、30 cm（トレイを折りたたんだ状態）
重量	i1405: 13.9 kg i1410: 12.5 kg i1420: 13.9 kg i1440: 13.9 kg
インターフェース	USB 2.0
使用環境温度	10°C ~ 35°C (50° ~ 95°F)
湿度	10 ~ 85% 相対湿度
環境要因	国際エネルギースタープログラム適合
消費電力 - スキャナー	省電力時：<4 W 稼動時：<52 W
消費電力 - A3 フラットベッド接続時	省電力時：<6 W 稼動時：<70 W

消費電力 – A4 フラット ベッド接続時	省電力時 : <6 W 稼動時 : <63 W
騒音レベル (音響出力)	動作 : 58 dB 未満 スタンバイ時 : 46 dB 未満

システム要件

コダック i1400 シリーズスキャナーの使用に推奨するシステム構成は以下のとおりです。

- Core-2 Duo、2 GHz/ コアプロセッサ以上、メモリ 2 GB 以上
- USB 2.0 ポート (USB 1.1 互換性がありますが、速度が遅くなります)
- 200 MB 以上のハードディスク空き容量
- サポートされているオペレーティングシステム :
 - Microsoft Windows 8 (32bit および 64bit)
 - Microsoft Windows 7 (32bit および 64bit)
 - Microsoft Windows Vista (32 bit)、SP1 を推奨
 - Microsoft Windows Vista SP1 x64 Edition
 - Microsoft Windows XP SP2/SP3 (32 bit)
 - Microsoft Windows XP x64 Edition SP2
 - Microsoft Windows 2003 Server R2 x64 Edition (TWAIN のみ)
 - Linux Ubuntu 6.0.6; 8.04 推奨
 - Linux SUSE 10.1; 11 推奨
 - Linux Fedora 8; 9 推奨

ドライバ :

- Windows OS: TWAIN, ISIS, WIA
- Linux ディストリビューション : TWAIN, SANE

付録 B 保証 - 米国、カナダ限定

コダックスキャナーをご購入いただき、ありがとうございます。コダックのキャナーは、最高のパフォーマンスと信頼性をお届けするように作られています。すべてのコダックのキャナーには、次の限定保証が適用されます。

コダックスキャナーの限定保証

イーストマンコダック社は、コダックまたはコダック認定代理店から販売された、コダックスキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

コダックは、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、コダックスキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定のコダックスキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべてのコダックスキャナーには、以下に示す保証の除外に関する条項が適用されます。コダックスキャナーに欠陥が発見された場合、または製品仕様に準拠しないことがわかった場合は、コダックの判断によって、修理を行うか、新しい製品、または工場整備された製品との交換を行います。

購入者は、電話 (800-822-1414) または当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/warranty) で、購入したコダックスキャナーに適用される限定保証期間を確認できます。また、この保証期間はコダックスキャナーに同梱されている限定保証の概要のカードにも記載されています。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

コダックの限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後にコダックスキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) コダックにキャナーを送り返す際に、その時点で最新のコダックの梱包と輸送のガイドラインにしたがってキャナーを梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に輸送中の損害を防ぐ手段を講じなかった、または、使用前にこれらの手段を取り外さなかった場合を含む）。(b) ユーザーのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、製品またはコンポーネントのシステムエンジニアリング、移動や廃棄、データの再構築によって損害が生じた（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、シールの破損を含む）。(c) コダック、またはコダックの正規修理店以外によってサービス、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、コダック製品の模造コンポーネントやコダック社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者のミス、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（推奨されている手順や仕様に逆らった、コダックの承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリに使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼働環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電 (ESD) 保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウェアの更新やリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目によって損害が生じた。これらの追加項目はオンライン (www.Kodak.com/go/warranty) または電話 (800-822-1414) で確認可能。

コダックでは、米国以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

コダックでは、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM (Original Equipment Manufacturer) により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、30 日のうち、長い方となります。

設置に関する警告と断り書き

コダックでは、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらのコダックが保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、また、これに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

コダックスキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読めば、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られるはずです。ただし、ユーザーズガイドを参照しても不明の場合は、当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/disupport) を参照するか、

コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に問い合わせてください。

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日までの、現地時間の午前8時から午後5時まで営業しています。

サポートセンターにお電話いただく場合には、コダックスキャナーの型番、パーツ番号、シリアルナンバー、購入を証明できるものを事前に用意してください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザーが問題を解決できるように、電話でお手伝いします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題の原因がコダックスキャナーと別のコンポーネントのいずれにあるのか、問題を電話で解決できるかを、サポートセンターで判断するためのものです。サポートセンターが、ハードウェア障害が限定保証や購入されたサービス保守契約の範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号（返品認証番号）が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理か交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、コダックスキャナー保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。コダックでは、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者はコダックスキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加のアイテム（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。誤って送付された場合にも、コダックは、それらのアイテムに関しては何らの保証をするものではなく、コダックスキャナーの修理後の返送や、交換品の送付の際に返却することはありません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、コダックに返送してください。コダックスキャナーの梱包、発送の際には、緩衝材を使用してください。元の梱包がない場合は、コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となるコダックスキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、コダックスキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。

コダックが交換した製品や部品は、コダックの所有となります。

顧客の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザーは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。コダックでは、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

イーストマンコダック社（コダック）は限定保証をサポートし、コダックスキャナーの使用および取り扱いを支援する（サービス方法）、様々なサービスプログラムを提供しています。コダックスキャナーはビジネス上の重要な役割を担う装備です。コダックスキャナーは競争力の維持に不可欠な生産性を提供します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは、修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高価なものになりえます。これらの問題を避けるために、コダックでは限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって、以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

お買い求めいただいたコダックスキャナーには、限定保証の概要カードが同梱されています。このカードは、モデルごとに異なります。限定保証の概要カードには、モデル番号と限定保証を含む、重要な保証に関する情報が記載されています。特定のコダックスキャナーに適用されるサービス方法を判断するには、限定保証概要カードを参照してください。

限定保証登録カード、または限定保証の概要カードが見つからない場合、製品に関する情報（最新の保証やサービスプログラムに関する情報や制限を含む）は、オンライン (www.Kodak.com/go/disupport) または電話 (800-822-1414) で入手できます。

サービスの遅延を避けるために、限定保証登録カードをできるだけ早く返送してください。限定保証登録カードが同梱されていない場合は、オンライン (www.Kodak.com/go/disupport) または電話 (800-822-1414) でも登録を行えます。

コダックはまた、コダックスキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。

コダックでは、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく努力しています。

出張サービス

選択したコダックスキャナーに対して、サポートセンターがハードウェアプログラムを確認した場合、サービスコールが作成され、記録されます。製品がアメリカ合衆国の 48 州、またはアラスカとハワイの一部の地域にあり、技術者がスキャナーにアクセスするにあたってセキュリティ上、安全上、または物理的な制限のない場合は、コダックの技術者が製品のある場所に派遣されて、修理が行われます。サービスが提供されている地域の詳細については、当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/docimaging) を参照してください。出張サービスは、休日を除く、月曜日から金曜日までの、現地時間の午前8時から午後5時の間に実施しています。

AUR

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定のコダックスキャナーの該当する購入者に対し、コダックは2営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のあるコダックスキャナーについて、事前に交換を行います。AUR を利用するには、対象となる購入者はRMA 番号を取得し、アドバンス交換合意書に署名し、交換用製品を確保するためのクレジットカードへの課金に了承します。RMA 番号は、交換のための製品を確認しなければならない場合のために、大切に保管してください。対象となる購入者は、交換のための製品の郵送先住所を尋ねられます。また、故障した製品の返品のために、梱包と発送に関する指示がファックスで送信されます。サービスのリクエストが始まり、コダックが署名された合意書を受け取ってから2営業日以内に、交換用の製品が届けられます。故障した製品は、ユーザーが交換用製品を受け取ってから10日以内にコダックに届けられる必要があります。この期日を過ぎると、交換用製品の標準価格がユーザーのクレジットカードに課金されます。交換用製品の発送にあたっては、コダックが送料を負担し、輸送手段を選択します。コダックの指示や、コダックが希望する輸送業者以外を使って発送が行われた場合、限定保証は無効になることがあります。

製品をコダックに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。故障した製品の返送には、交換用製品に使われていた箱と梱包を使用してください。故障した製品が、交換用製品に使われていた箱と梱包で返送されなかった場合、限定保証は無効になることがあります。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

ディーポサービス

コダックスキャナーがアドバンス交換やオンサイトサービスの対象でない場合、限定保証の対象である購入者は、当社のディーポ修理サービスを利用できます。対象となる購入者は、最寄りの正規ディーポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任をもつものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている箱を使用して、コダックに返送してください。コダックスキャナーには、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品の注文方法を問い合わせてください。コダックスキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から10営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、コダックスキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担でRMA が指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を10営業日以内に修理します。修理された製品は、2日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

適用対象資格：アドバンス交換プログラムとディーポサービスは、米国の50の州において、限定保証対象の購入者に対して提供されています。また出張サービスは、米国大陸の48の州と、アラスカとハワイの一部の地域で提供されています。いずれも対象となるのは、コダックの正規販売店から購入した製品になります。コダックスキャナーが、その時点で最新の保証の除外事由に該当する場合は、保証によるサービスの対象とはなりません。これには、購入者が欠陥のある製品をコダックに返送する際に、コダックの最新の「梱包と輸送のガイドライン」に従わなかった場合も含まれます。購入者は、コダックスキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザー」とみなされます。

消耗品：消耗品とは、通常の使用で磨耗し、必要に応じてユーザーが置き換えなければならないアイテムです。消耗品や備品など、および、ユーザーズガイドでユーザーの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

上記の除外される部品やサービスは、正規サービス店が独自の条件と料金で提供しています。

コダックが交換した製品や部品は、コダックの所有となります。

コダックの連絡先

コダックスキャナーの連絡先：

Web サイト：www.Kodak.com/go/docimaging

米国内の 電話によるサービス、修理、技術サポート：

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く月曜日から金曜日まで、午前 5 時 午後 5 時まで 営業しています。

電話番号：(800) 822-1414

技術文書と FAQ（24 時間）：

Web サイト：www.Kodak.com/go/docimaging

サービスプログラム情報：

Web サイト：www.Kodak.com

電話番号：(800) 822-1414

Kodak